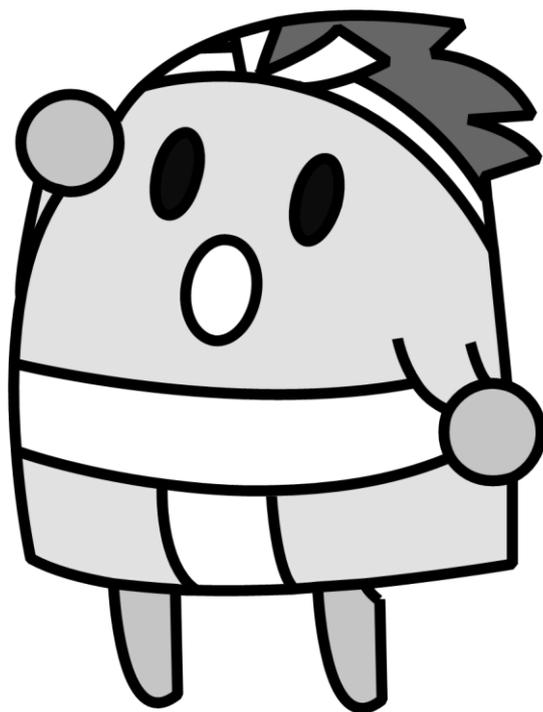


# 第25回 市政世論調査

## 市民のこえ

調査結果のまとめ



©稲沢市 いなッピー



いなざわ

2020 稲沢市

# はじめに

2年に1回実施しております「市政世論調査」は、昭和48年の1回目の調査を開始して以来、今回で25回目となりました。

この調査は、市のさまざまな施策について、市民の皆さまからご意見やご提案をいただくとともに、その結果を行財政運営に反映させ、魅力と活力のあるまちづくりを進めるため実施しております。

去年は、元号が「平成」から「令和」へと引き継がれ、新時代の幕開けの年となりましたが、本年は新型コロナウイルス感染症が世界規模で発生し、市民の皆さまの生活に多大な影響を及ぼすこととなりました。

「with コロナの時代」の中、皆さまにおかれましては新型コロナウイルス感染症の感染防止と社会経済活動の両立に向け、ご協力いただき心より感謝申し上げます。市といたしましては「いなざわ事業者げんき補助金」の創設をはじめとした独自の緊急経済対策などに取り組んでおり、引き続き支援を行ってまいります。

また、9月には市役所本庁舎東側に新しく東庁舎が完成しました。1階に福祉課を設置し、令和3年度からは稲沢市社会福祉協議会を新たに集約することで、福祉のワンストップサービスを実施するほか、2階には危機管理課と災害対策室を設置し、頻発し激甚化する自然災害に迅速に対応してまいります。

厳しい時代の中ではありますが、今後の社会状況の変化に対応し、市民の皆さまとともに新たな魅力ある稲沢市を目指してまいります。

今後も稲沢市の発展のため、市政に一層のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。最後に、この調査にご協力いただいた多くの市民の皆さまに厚くお礼を申し上げます。

令和2年11月  
稲 沢 市

# 目 次

はじめに .....	1
目次 .....	2
<b>I 調査概要.....</b>	<b>4</b>
1 調査の目的 .....	4
2 調査の概要 .....	4
3 回収結果 .....	4
4 調査結果の見方 .....	4
5 過去の調査概要 .....	5
<b>II 調査結果.....</b>	<b>7</b>
1 回答者の属性について .....	7
2 稲沢市について .....	10
問1 稲沢市を住みやすいところだと感じますか。 .....	10
問1-1 住みにくい理由は何ですか。 .....	12
問2 これからも稲沢市に住みたいと思いますか。 .....	14
問3 稲沢市の現状についてどの程度満足していますか。 .....	16
問4 あなたは、次の各項目についてどれにあてはまりますか。 .....	18
問5 市政の情報を得るために、どのような媒体を利用していますか。 .....	24
問6 稲沢市では、市政の情報を提供する「広報いなざわ」を発行しています。 「広報いなざわ」をどの程度読んでいますか。 .....	25
問6-1 その理由は何ですか。 .....	26
問7 今後、「広報いなざわ」にどのような工夫や改善が必要だと思いますか。 .....	27
問8 平成31年4月1日から、高齢者や障害のある方、妊娠中の方などの外出を 支援する事業として「稲沢おでかけタクシー実証実験事業」を実施しています。 この事業について、どの程度知っていますか。 .....	28
問9 地域の活動やボランティア活動に参加したことがありますか。 .....	28
問10 台風など災害時に避難する際、家族や近所の方など、手助けをお願いできる 人がいますか。 .....	29
問11 稲沢市の福祉事業・活動全般について、どの程度満足していますか。 .....	29
問12 ごみの収集日や分別方法を知りたいとき、どのような媒体を利用しますか。 .....	30
問13 ごみの分別方法を検索したり、ごみの収集日をお知らせする機能がついた スマートフォン用アプリ（ごみ分別アプリ）を導入した場合、利用したいと 思いますか。 .....	32
問13-1 その理由は何ですか。 .....	33
問14 お住まいの住宅に住宅用火災警報器は設置されていますか。 .....	34

問 14-1	住宅用火災警報器の作動確認を半年以内に実施しましたか。.....	34
問 14-2	作動確認を実施した結果について選んでください。.....	34
問 14-3	稲沢市では、火災予防条例で住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。 住宅用火災警報器を設置する義務があることを知っていましたか。.....	35
問 14-4	設置していない理由は何ですか。.....	35
問 15	飲料水として、最も利用する水は何ですか。.....	36
問 15-1	その理由は何ですか。.....	37
問 16	次の病気のうち、たばこが影響すると知っているものはありますか。.....	38
問 17	あなたは心身ともに健康であると思いますか。.....	40
問 18	日常生活（仕事や家事などを含む）において、1日にどの程度歩いていますか。....	42
問 19	1日3回の食事をどの程度摂れていますか。.....	44
問 20	あなたや家族の方が病気などになったとき、稲沢市民病院を利用しますか。.....	46
問 20-1	その理由は何ですか。.....	48
<b>Ⅲ</b>	<b>第24回市政世論調査 調査結果活用事例.....</b>	<b>50</b>

# I 調査概要

## 1 調査の目的

市民生活の実態や、市民志向の調査、市政に対する意見・提言の調査を行い、データなどの集約・分析によって、現状把握の中から行政施策の立案・実態把握の基礎資料とします。

## 2 調査の概要

- (1) 調査地域 : 稲沢市全域
- (2) 調査対象者 : 満 18 歳以上の市民の方 2,500 人（無作為抽出）
- (3) 調査期間 : 令和 2 年 8 月 1 日から 8 月 17 日まで
- (4) 調査方法 : 郵送配布・郵送回収による郵送調査法

## 3 回収結果

配布数	有効回答数	有効回答率
2,500 通	1,425 通	57.0%

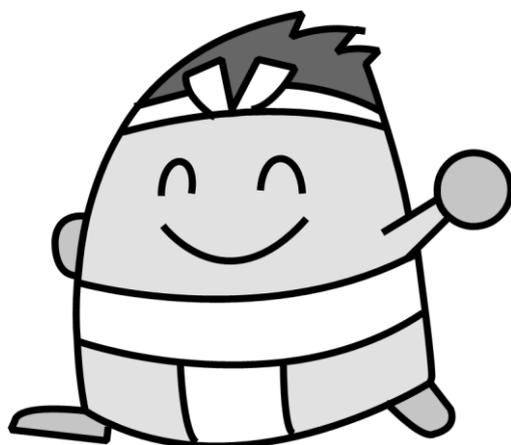
## 4 調査結果の見方

- 図表中の「N数 (number of case)」は集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を示しています。
- グラフ中の「%」は、小数第 2 位を四捨五入しているため、単数回答の設問（1 つだけに○をつけるもの）であっても合計が 100%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（あてはまるものすべてに○をつけるものなど）は「N」に対する各選択肢の回答者数の割合を示していますので、合計が 100%を超える場合があります。
- 図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- 設問に対する回答数が「あてはまるもの全てに○」の場合、各 N 数と調査結果の割合から割戻した数の合計が一致しない場合があります。
- グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載しています。
- 調査結果を図表で表示していますが、グラフ以外の集計表（クロス集計）は、最も高い割合のものを網かけしています。（「無回答」を除く）

※クロス集計とは…複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ表を作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法

## 5 過去の調査概要

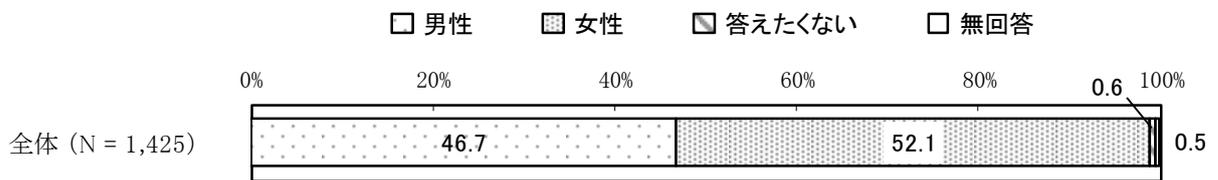
区分	調査年月日	調査人数	回答人数	回収率	調査方法
第 1 回	昭和 48 年7月	1,000 人	805 人	80.5%	個別面接法
第 2 回	昭和 49 年9月	2,000 人	1,418 人	70.9%	郵送法
第 3 回	昭和 50 年9月	2,000 人	1,461 人	73.1%	郵送法
第 4 回	昭和 52 年6月	2,000 人	1,402 人	70.1%	郵送法
第 5 回	昭和 54 年7月	2,000 人	1,579 人	79.0%	郵送法
第 6 回	昭和 56 年7月	2,500 人	1,929 人	77.2%	郵送法
第 7 回	昭和 58 年7月	2,500 人	1,893 人	75.7%	郵送法
第 8 回	昭和 60 年7月	2,500 人	1,936 人	77.4%	郵送法
第 9 回	昭和 62 年6月	2,500 人	1,878 人	75.1%	郵送法
第 10 回	平成元年6月	2,500 人	1,768 人	70.7%	郵送法
第 11 回	平成4年6月	2,500 人	1,775 人	71.0%	郵送法
第 12 回	平成6年7月	2,500 人	1,801 人	72.0%	郵送法
第 13 回	平成8年7月	2,500 人	1,685 人	67.4%	郵送法
第 14 回	平成 10 年7月	2,500 人	1,767 人	70.7%	郵送法
第 15 回	平成 12 年7月	2,500 人	1,699 人	68.0%	郵送法
第 16 回	平成 14 年7月	2,500 人	1,660 人	66.4%	郵送法
第 17 回	平成 16 年7月	2,500 人	1,598 人	63.9%	郵送法
第 18 回	平成 18 年7月	2,500 人	1,625 人	65.0%	郵送法
第 19 回	平成 20 年8月	2,500 人	1,598 人	63.9%	郵送法
第 20 回	平成 22 年8月	2,500 人	1,637 人	65.5%	郵送法
第 21 回	平成 24 年8月	2,500 人	1,624 人	65.0%	郵送法
第 22 回	平成 26 年 11 月	2,500 人	1,699 人	68.0%	郵送法
第 23 回	平成 28 年8月	2,500 人	1,390 人	55.6%	郵送法
第 24 回	平成 30 年8月	2,500 人	1,352 人	54.1%	郵送法



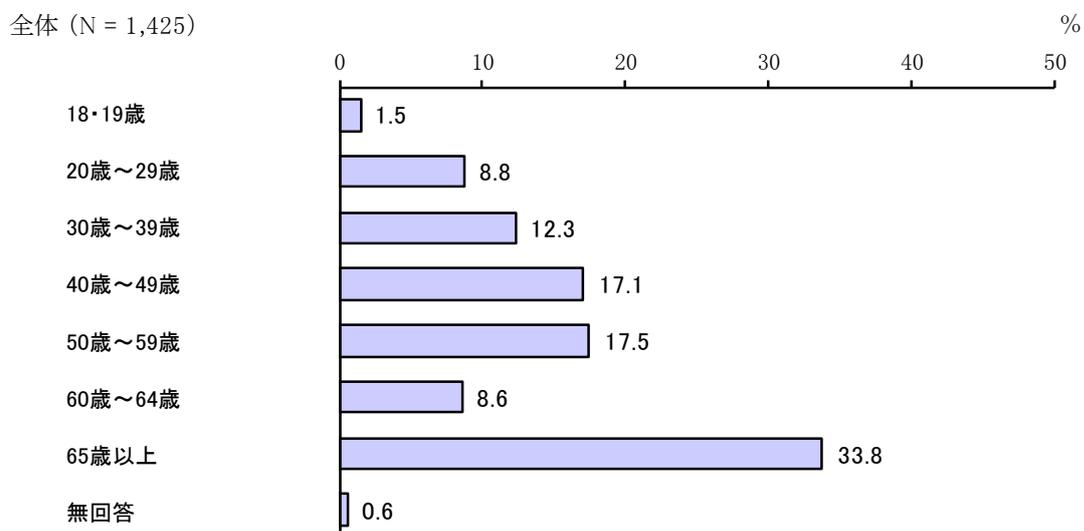
## II 調査結果

### 1 回答者の属性について

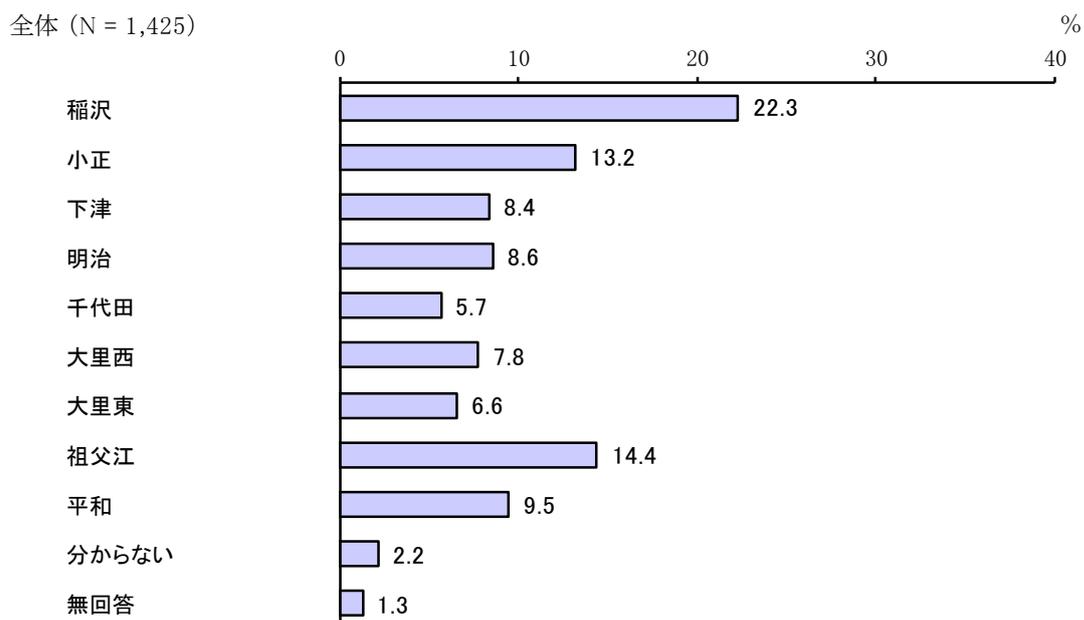
性別をお答え下さい。(〇は1つだけ)



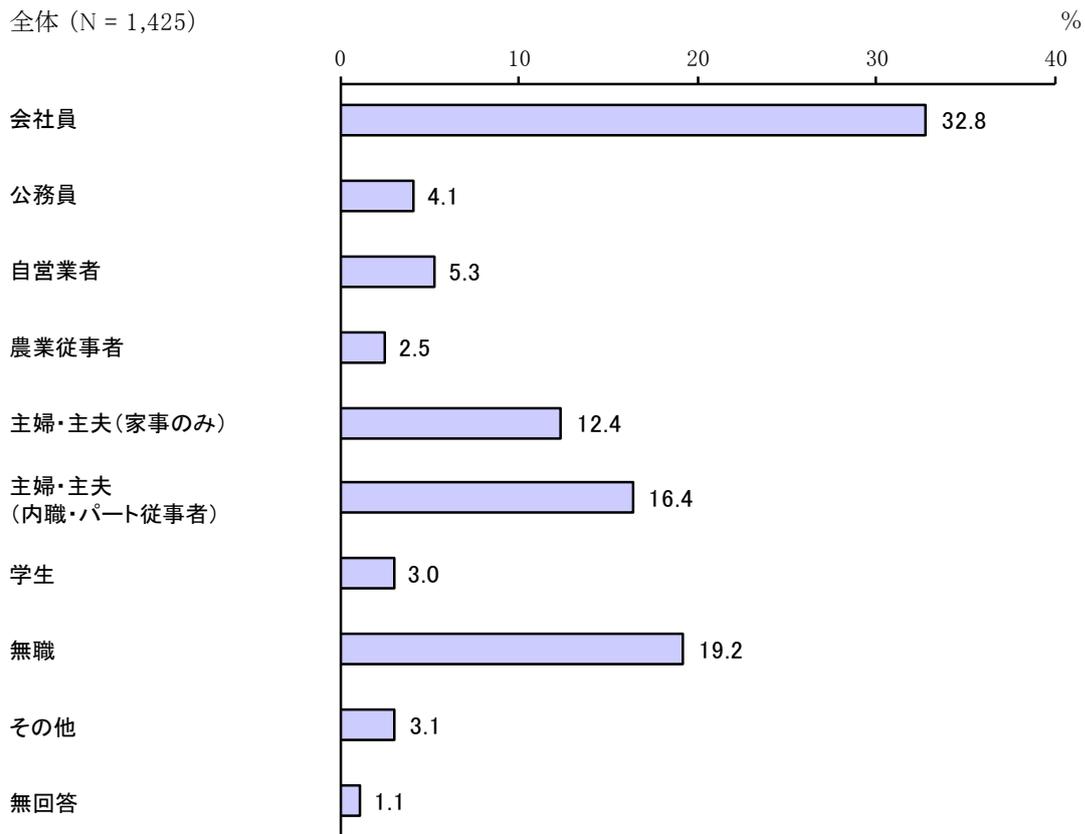
満年齢は何歳代ですか。(〇は1つだけ)



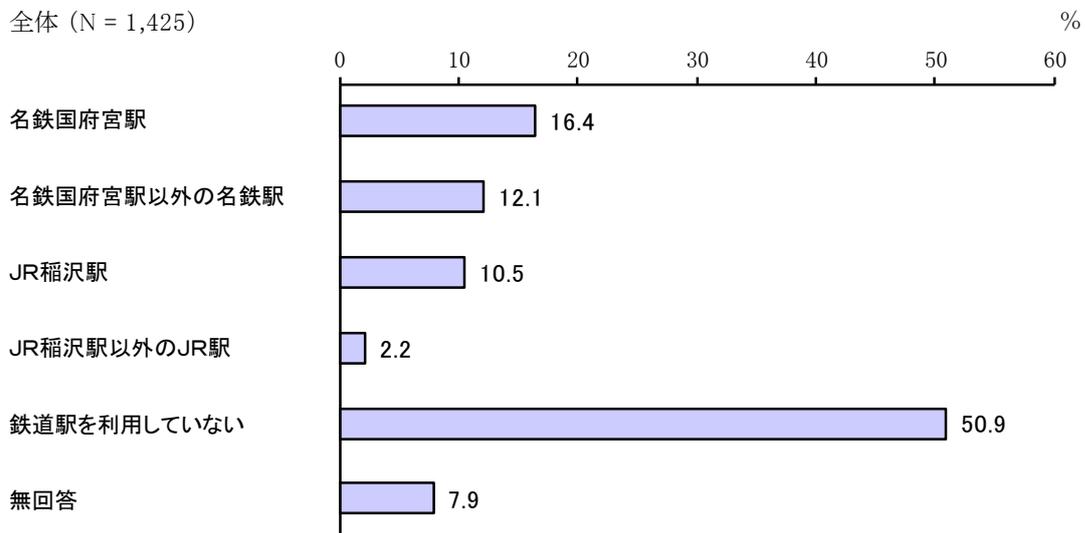
お住まいの支所・市民センター地区はどちらですか。(〇は1つだけ)



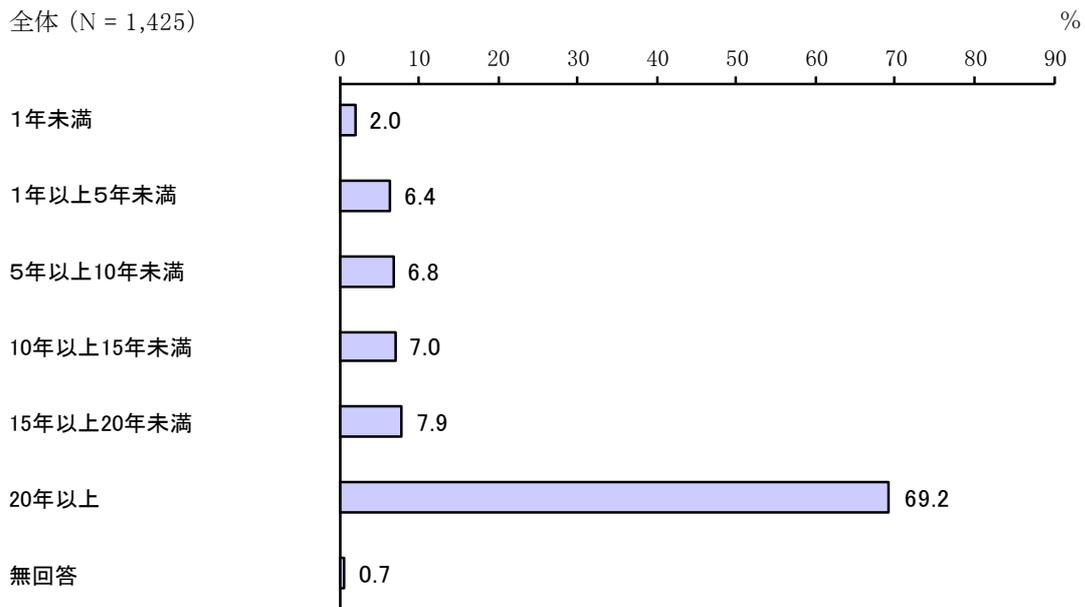
ご職業をお答えください。(〇は1つだけ)



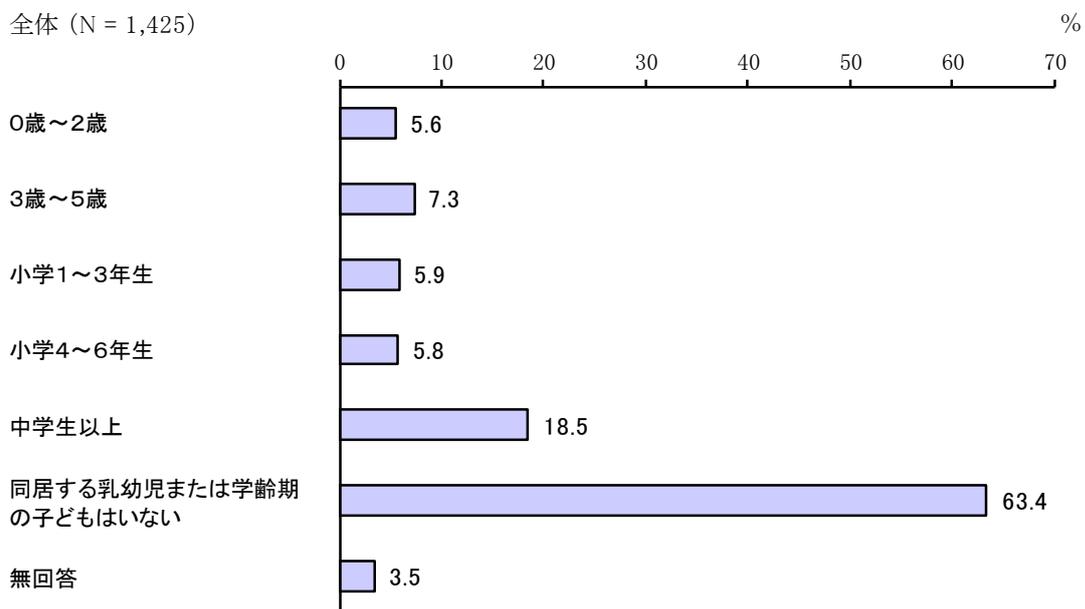
日ごろ通勤・通学などで利用している鉄道駅を選んでください。(〇は1つだけ)



稲沢市の居住年数をお答えください。(○は1つだけ)



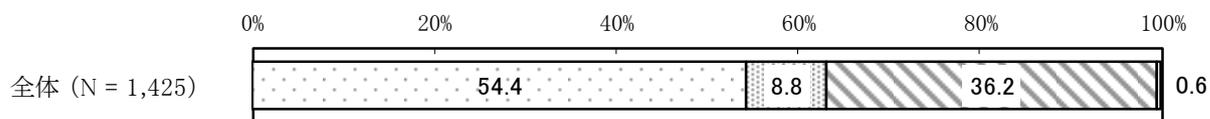
同居する乳幼児または学齢期（高校・大学生を含む）の子どもはいますか。  
(あてはまるもの全てに○)



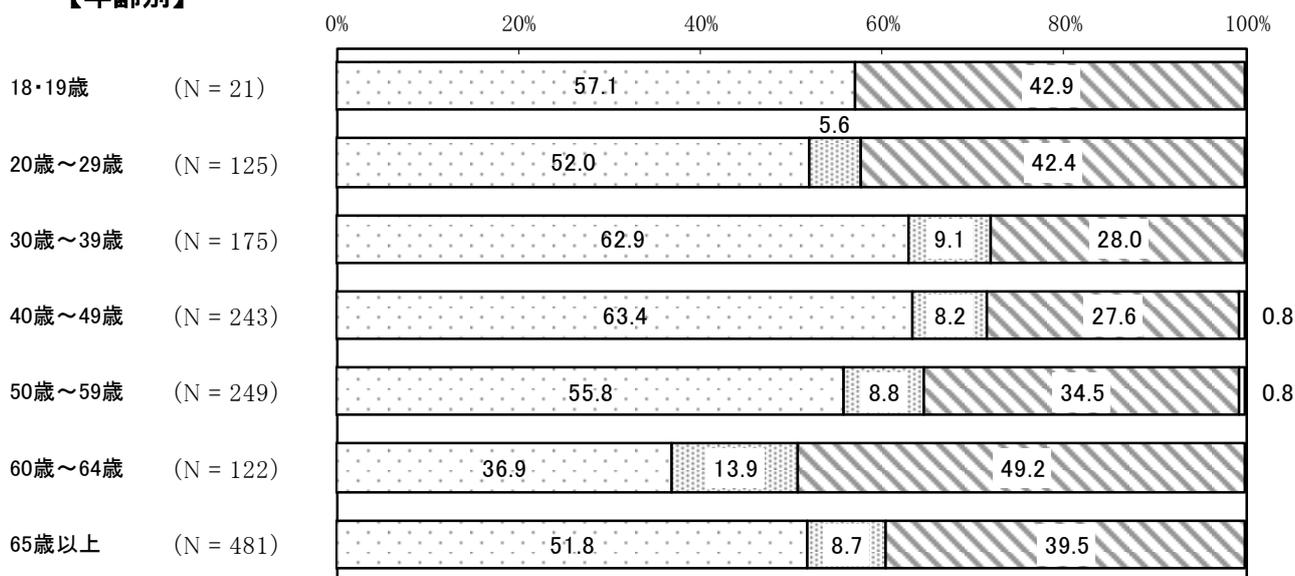
## 2 稲沢市について

### 問1 稲沢市を住みやすいところだと感じますか。(〇は1つだけ)

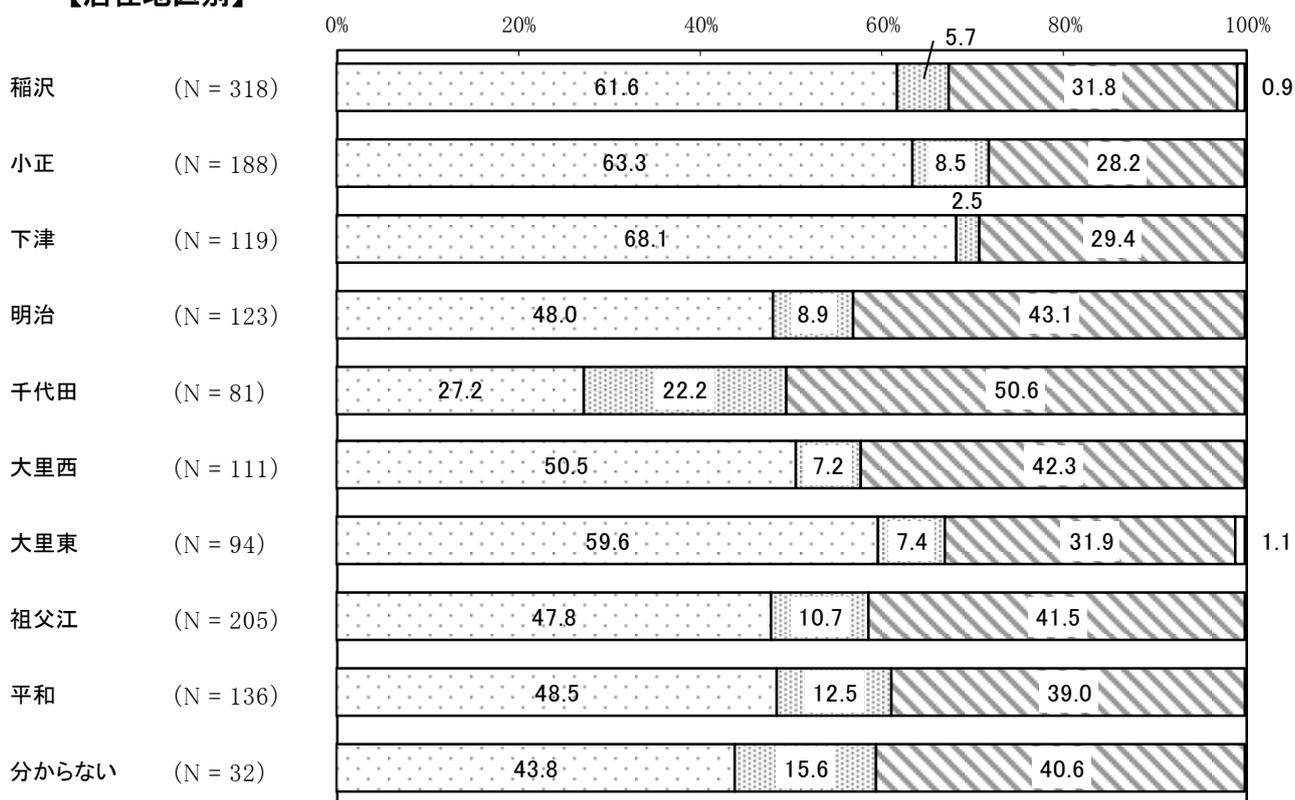
□ 住みやすい □ 住みにくい □ どちらともいえない □ 無回答



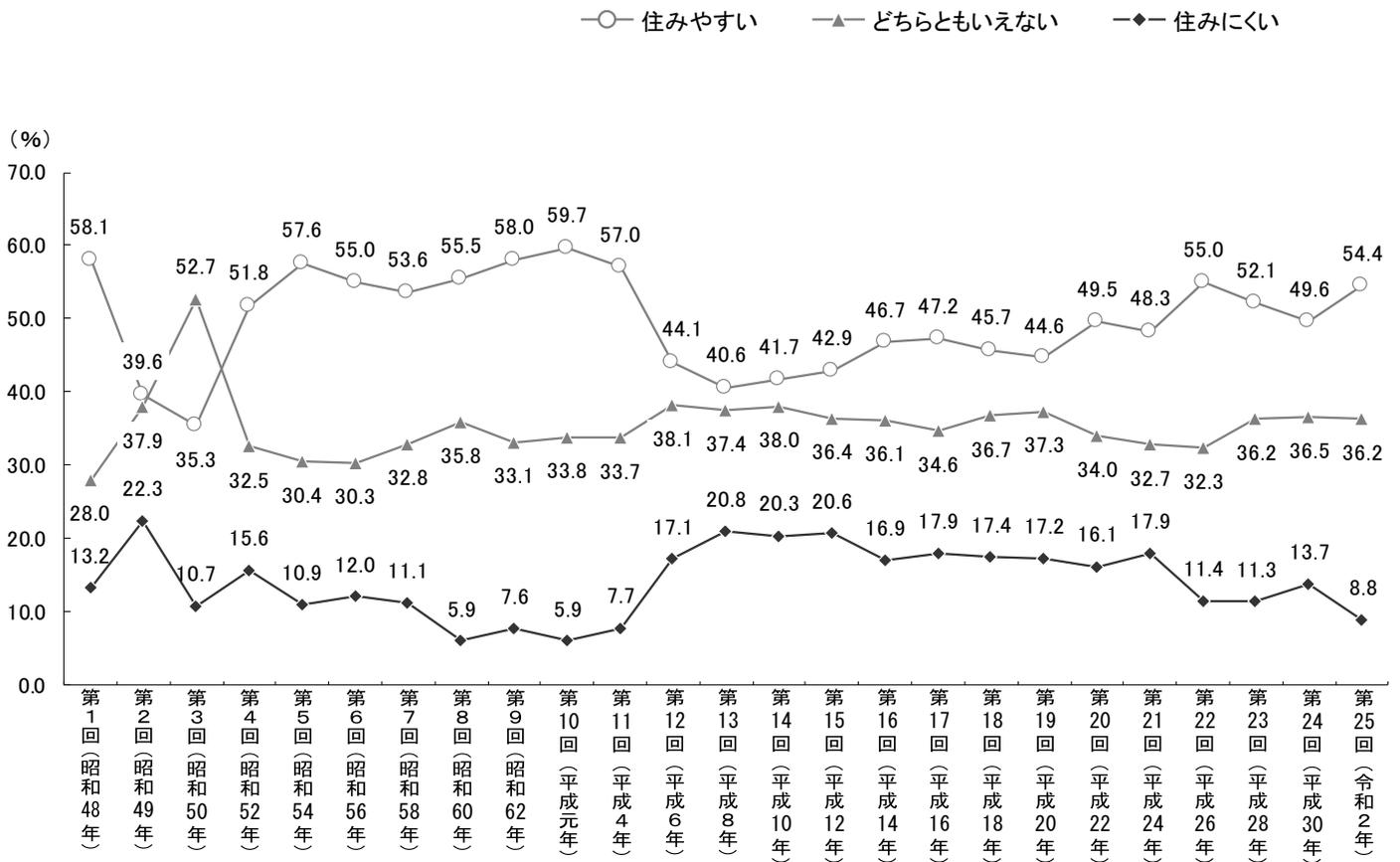
#### 【年齢別】



#### 【居住地区別】



## 【過去調査との比較】



### ●住みやすいと感じている方は5割半ば

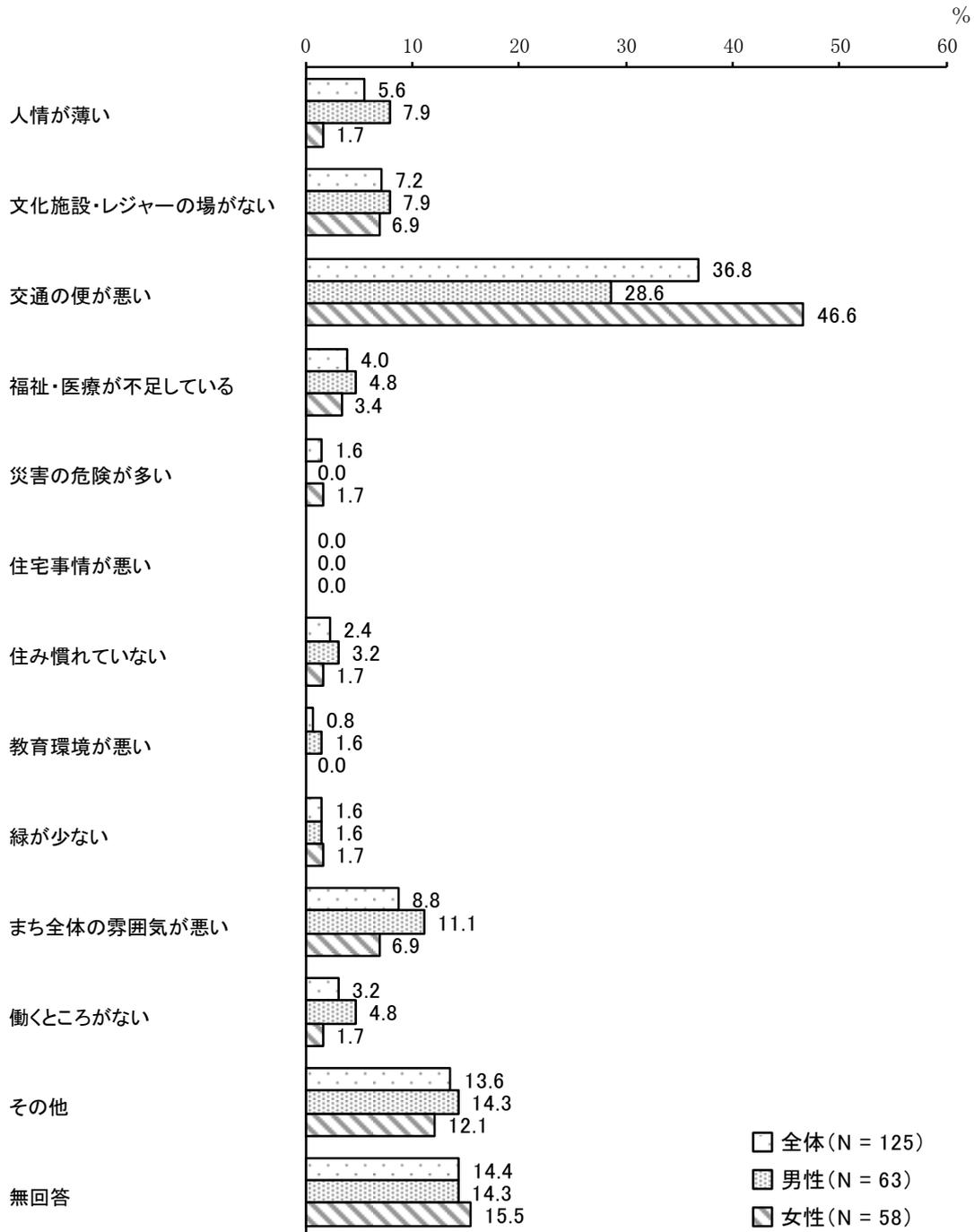
稲沢市を住みやすいところだと感じているかは、全体で「住みやすい」が54.4%、「住みにくい」が8.8%、「どちらともいえない」が36.2%となっています。

前回調査と比べると、「住みやすい」は4.8ポイント高くなっており50%を上回っています。「住みにくい」は4.9ポイント低くなっています。

年齢別で見ると、18・19歳で「住みにくい」と感じている方はいませんでした。また、30歳～39歳、40歳～49歳で「住みやすい」と感じている方の割合が他の年代と比べて高くなっています。一方、60歳～64歳では「住みにくい」と感じている方の割合が13.9%と他の年代と比べて高くなっています。

居住地区別にみると、稲沢、小正、下津地区は「住みやすい」と感じている方の割合が高くなっているのに対し、千代田地区では「住みにくい」と感じている方の割合が他の居住地区と比べて高くなっています。

問1で「2. 住みにくい」と答えた方にお聞きします。  
 問1-1 住みにくい理由は何ですか。(〇は1つだけ)



## 【居住地区別】

単位：％

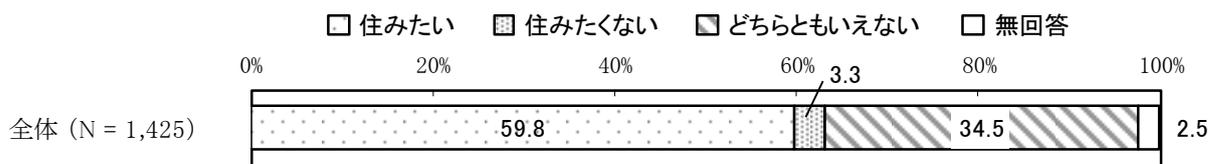
区分	有効回答数 (件)	人情が薄い	文化施設・レジャー の場がない	交通の便が悪い	福祉・医療が不足し ている	災害の危険が多い	住宅事情が悪い	住み慣れていない	教育環境が悪い	緑が少ない	まち全体の雰囲気 が悪い	働くところがない	その他	無回答
稲沢	18	5.6	5.6	11.1	5.6	—	—	—	—	—	5.6	11.1	22.2	33.3
小正	16	—	6.3	—	6.3	—	—	—	6.3	—	25.0	—	31.3	25.0
下津	3	—	—	33.3	—	—	—	33.3	—	33.3	—	—	—	—
明治	11	—	18.2	45.5	9.1	—	—	—	—	—	—	9.1	9.1	9.1
千代田	18	—	11.1	83.3	—	5.6	—	—	—	—	—	—	—	—
大里西	8	25.0	—	25.0	—	—	—	—	—	—	12.5	—	37.5	—
大里東	7	—	14.3	28.6	—	—	—	—	—	14.3	—	—	14.3	28.6
祖父江	22	4.5	—	45.5	—	—	—	4.5	—	—	18.2	4.5	9.1	13.6
平和	17	5.9	11.8	47.1	11.8	5.9	—	5.9	—	—	5.9	—	—	5.9
分からない	5	40.0	—	20.0	—	—	—	—	—	—	—	—	20.0	20.0

### ●住みにくい理由は「交通の便が悪い」から

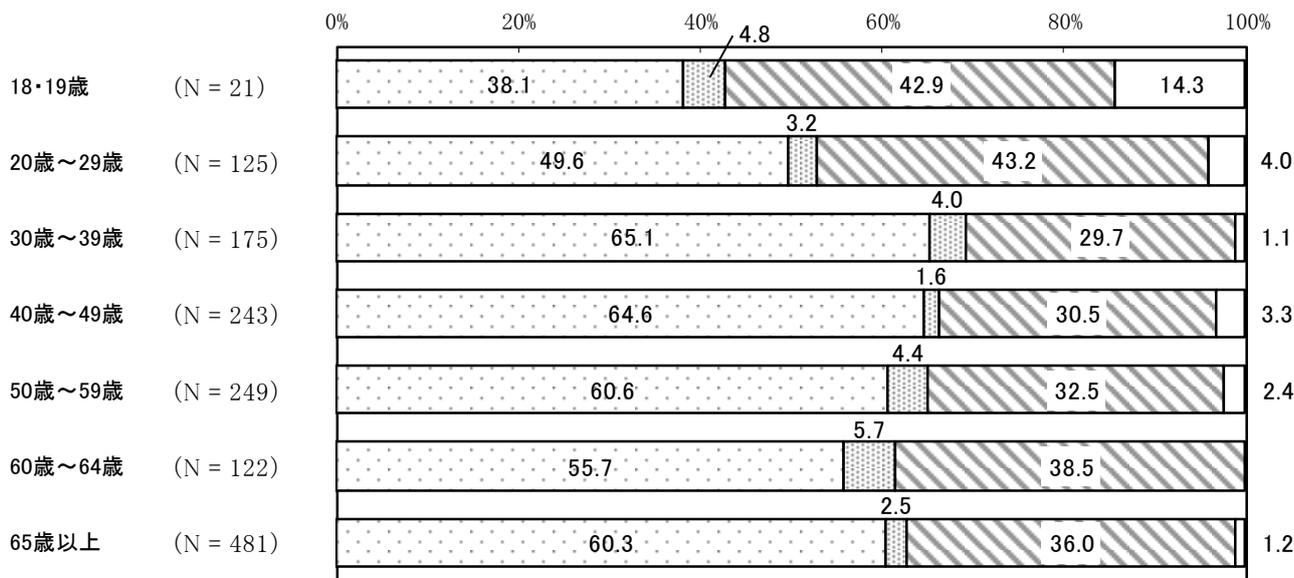
住みにくい理由は、全体で「交通の便が悪い」の割合が36.8%と最も高く、次いで「まち全体の雰囲気が悪い」が8.8%、「文化施設・レジャーの場がない」が7.2%となっています。

居住地区別にみると、千代田地区で「交通の便が悪い」の割合が他の居住地区と比べて高くなっています。

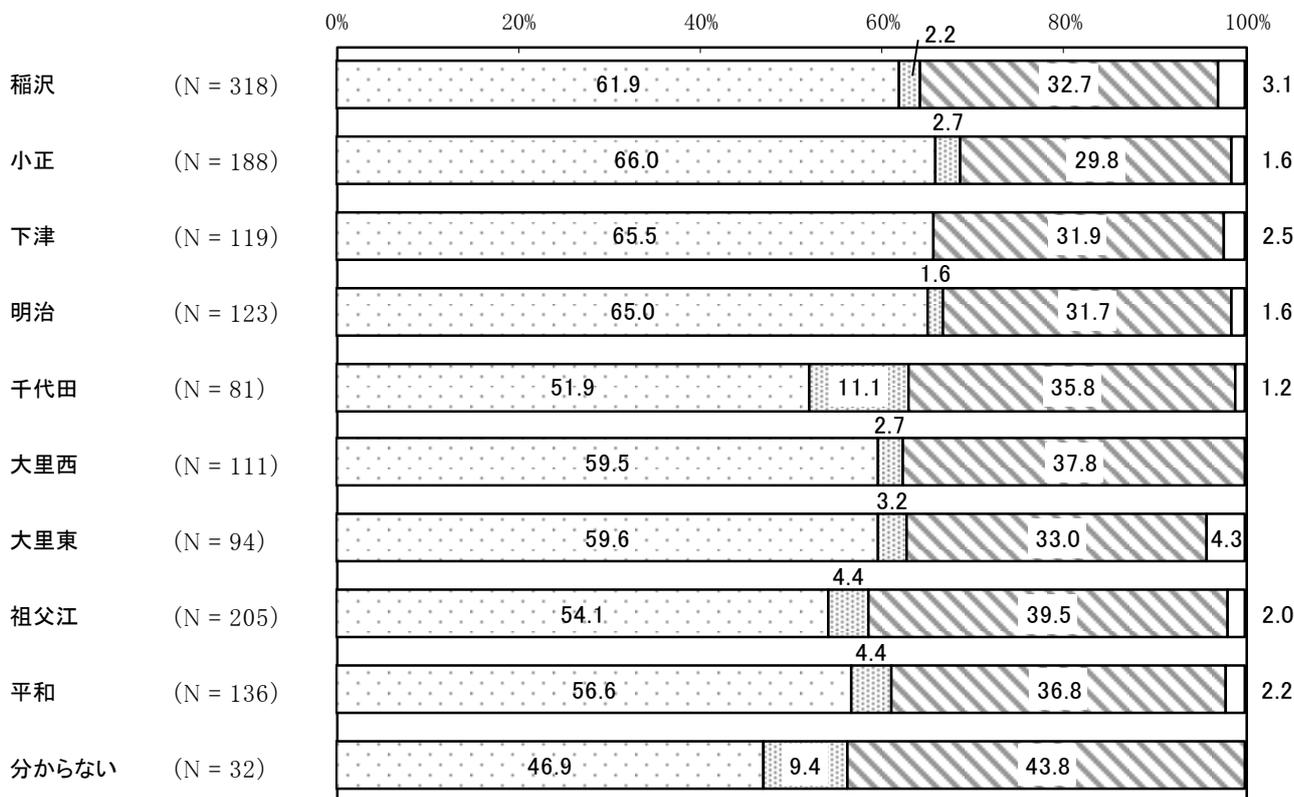
**問2 これからも稲沢市に住みたいと思いますか。(○は1つだけ)**



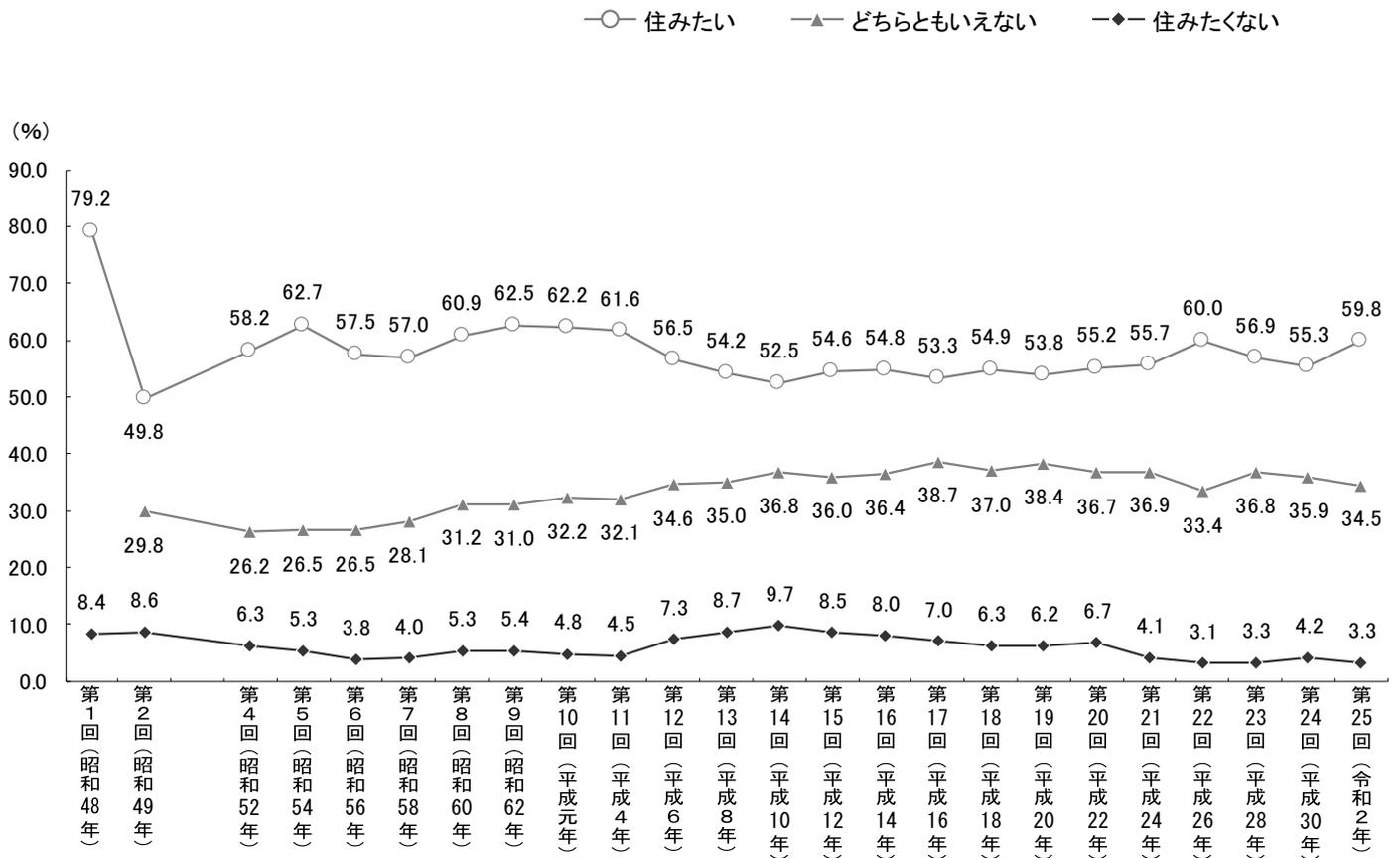
**【年齢別】**



**【居住地区別】**



## 【過去調査との比較】



### ●これからも稲沢市に「住みたい」と思う方は増加

これからも稲沢市に住みたいと思う方は、全体で「住みたい」が59.8%、「住みたくない」が3.3%、「どちらともいえない」が34.5%となっています。

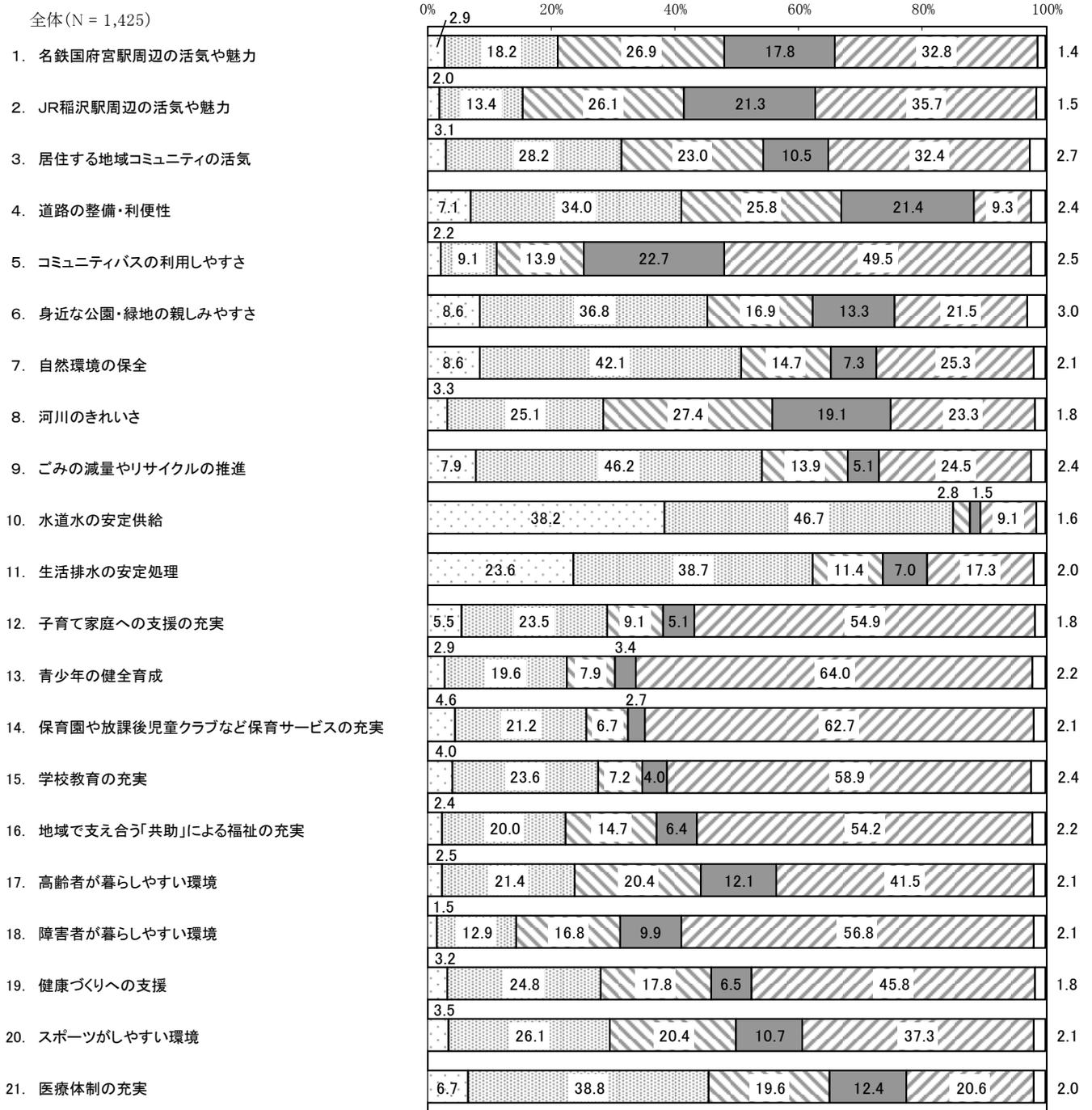
前回調査と比べると、「住みたい」は4.5ポイント高く、「住みたくない」は0.9ポイント低くなっています。

年齢別で見ると、30歳～39歳、40歳～49歳で、「住みたい」と思っている方は6割半ばと高くなっています。

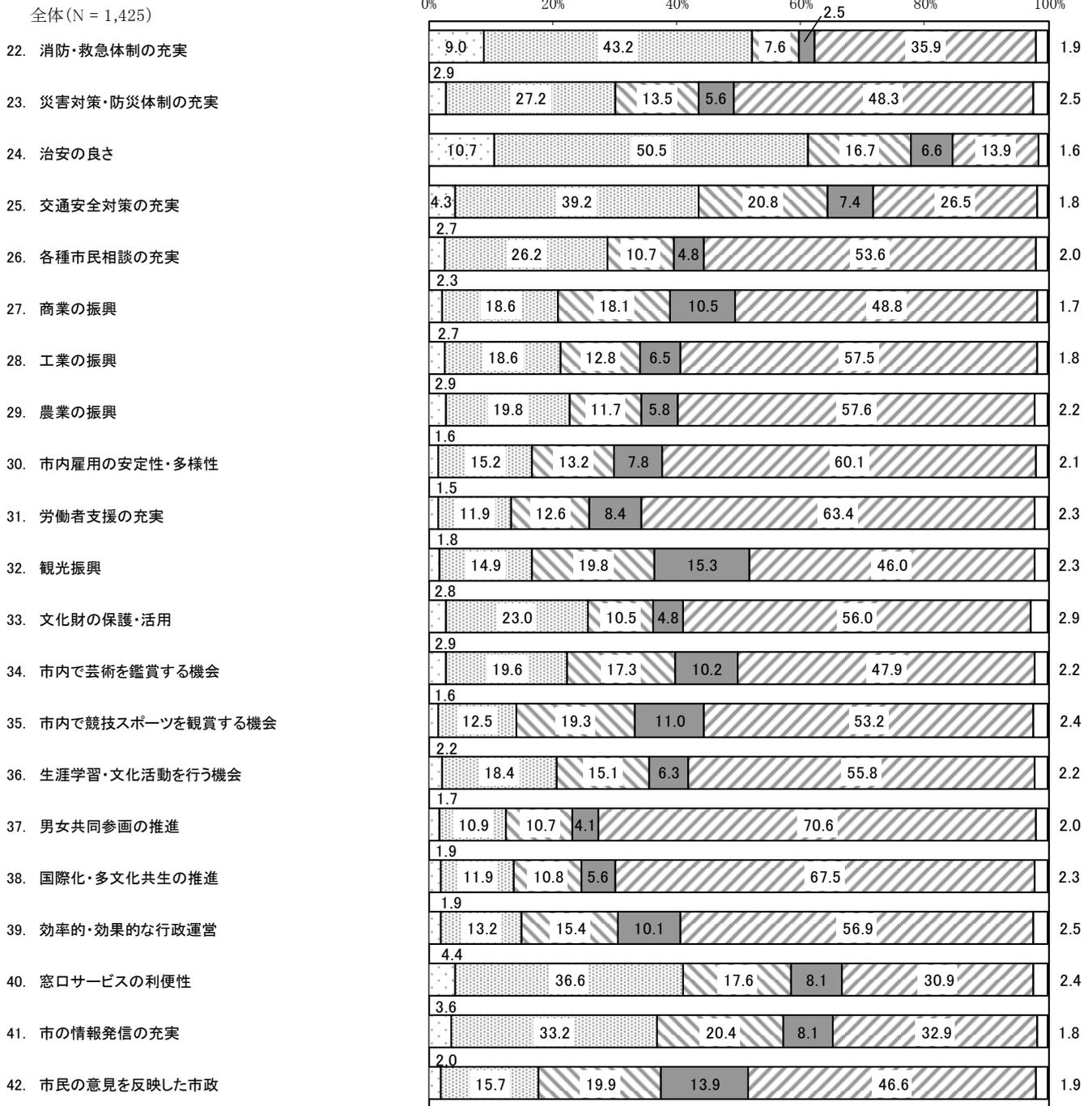
居住地区別にみると、小正、下津、明治地区で「住みたい」と思う方が6割半ばと、高い割合となっているものの、千代田地区で「住みたくない」が約1割と他の居住地区よりも高くなっています。

**問3 稲沢市の現状についてどの程度満足していますか。  
(それぞれについて○は1つだけ)**

満足                       どちらかといえば満足     どちらかといえば不満  
 不満                         わからない                       無回答



満足                       どちらかといえば満足     どちらかといえば不満  
 不満                         わからない                       無回答

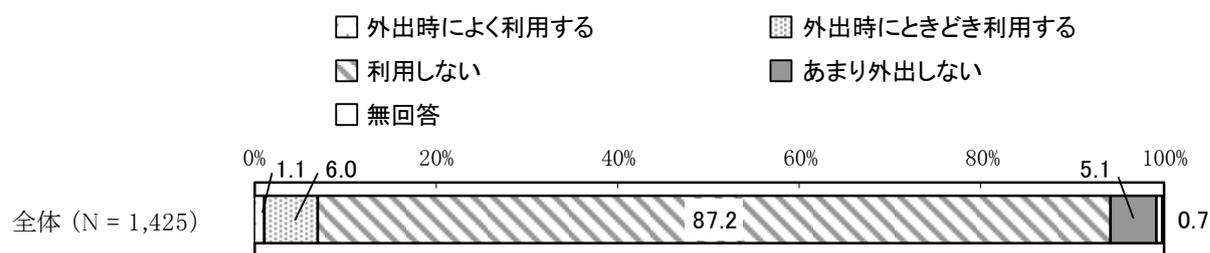


## ● 「水道水の安定供給」について 8割半ばが満足

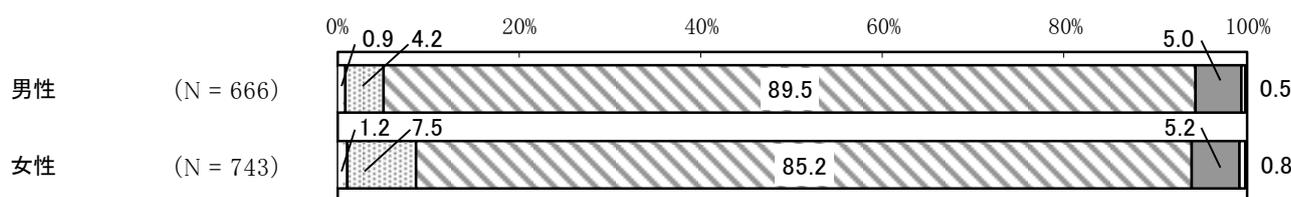
現状について、「7. 自然環境の保全」「9. ごみの減量やリサイクルの推進」「10. 水道水の安定供給」「11. 生活排水の安定処理」「22. 消防・救急体制の充実」「24. 治安の良さ」は5割以上の市民が“満足”と感じています。一方、「1. 名鉄国府宮駅周辺の活気や魅力」「2. JR稲沢駅周辺の活気や魅力」「4. 道路の整備・利便性」「8. 河川のきれいさ」は約4割の市民が“不満”と感じています。

**問4 あなたは、次の各項目についてどれにあてはまりますか。**  
(それぞれについて○は1つだけ)

**1. あなたは日常の交通手段としてコミュニティバスを利用していますか**



**【性別】**

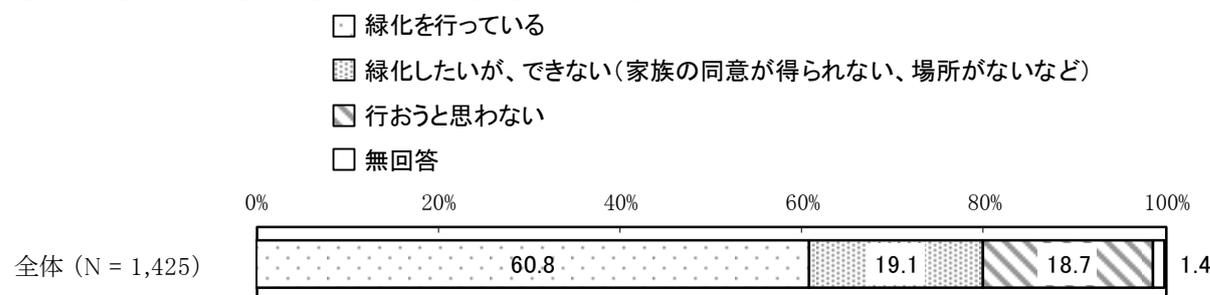


**●日常の交通手段としてコミュニティバスを「利用しない」が8割半ば**

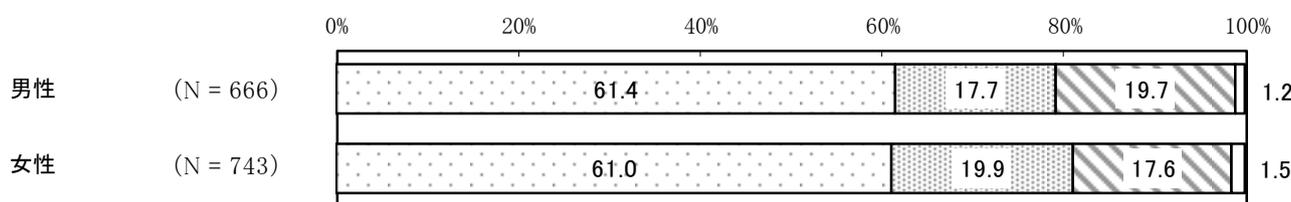
日常の交通手段としてコミュニティバスを利用しているかは、全体で「利用しない」が87.2%と最も高くなっています。

性別で、大きな差異はみられません。

**2. あなたの家庭では自宅などの緑化を行っていますか**



**【性別】**

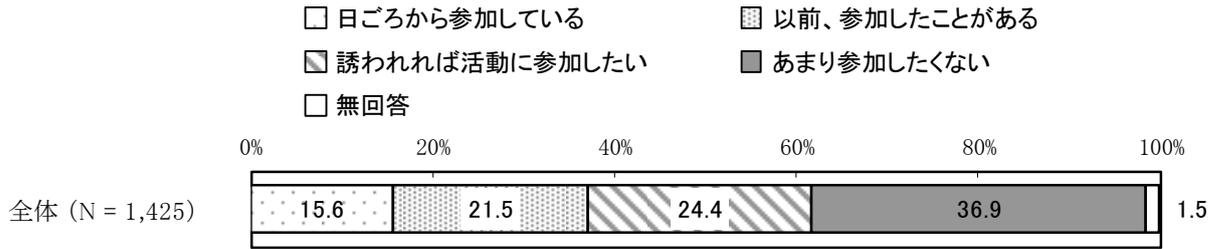


**●自宅などの「緑化を行っている」が約6割**

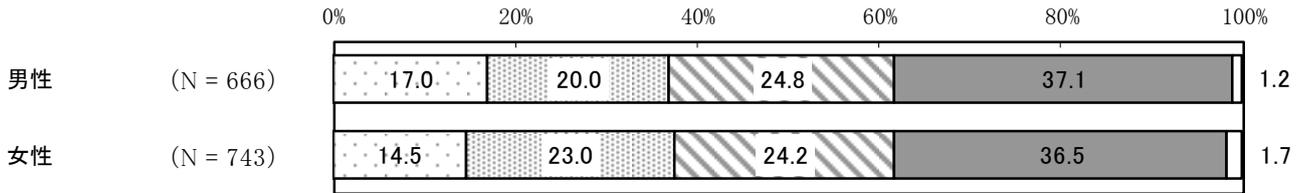
自宅などの緑化を行っているかは、全体で「緑化を行っている」が60.8%と最も高く、次いで「緑化したいが、できない(家族の同意が得られない、場所がないなど)」が19.1%、「行おうと思わない」が18.7%となっています。

性別で、大きな差異はみられません。

### 3. あなたは環境美化活動に参加していますか



#### 【性別】

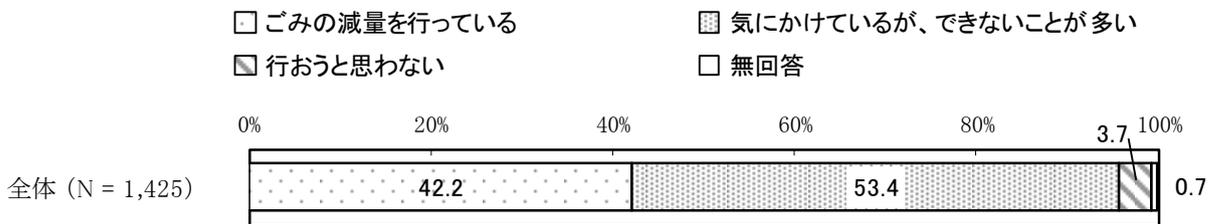


#### ●環境美化活動に「あまり参加したくない」が3割半ば

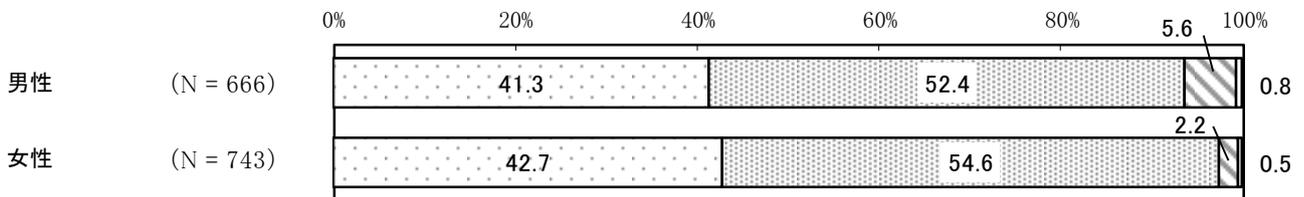
環境美化活動に参加しているかは、全体で「あまり参加したくない」が36.9%と最も高く、次いで「誘われれば活動に参加したい」が24.4%、「以前、参加したことがある」が21.5%となっています。

性別で、大きな差異はみられません。

### 4. あなたはごみの減量を行っていますか



#### 【性別】



#### ●ごみの減量を「気にかけているが、できないことが多い」が5割半ば

ごみの減量を行っているかは、全体で「気にかけているが、できないことが多い」が53.4%と最も高く、次いで「ごみの減量を行っている」が42.2%となっています。

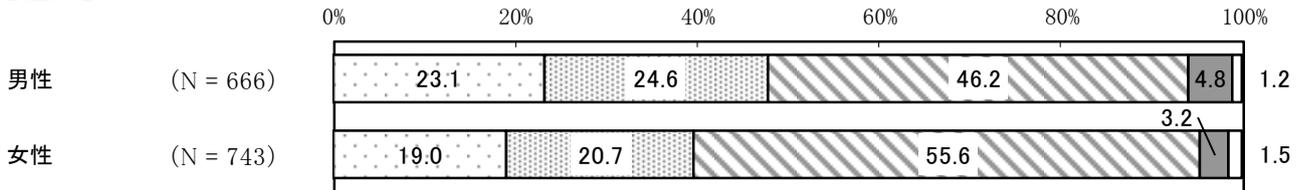
性別で、大きな差異はみられません。

## 5. あなたは日ごろから健康維持・増進活動を行っていますか

- 日常的に健康づくり活動を行っている
- ときどき健康づくり活動を行っている
- 気にかけているが、できないことが多い
- 行おうと思わない
- 無回答



### 【性別】



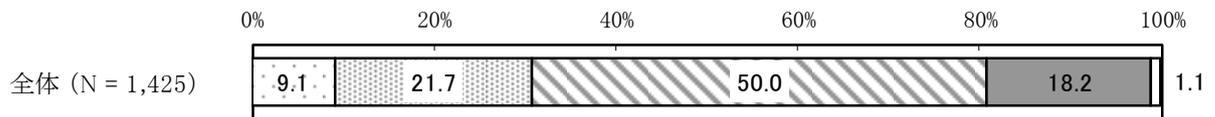
### ●日ごろから健康維持・増進活動を「気にかけているが、できないことが多い」が約5割

日ごろから健康維持・増進活動を行っているかは、全体で「気にかけているが、できないことが多い」が51.2%と最も高く、次いで「ときどき健康づくり活動を行っている」が22.5%、「日常的に健康づくり活動を行っている」が21.1%となっています。

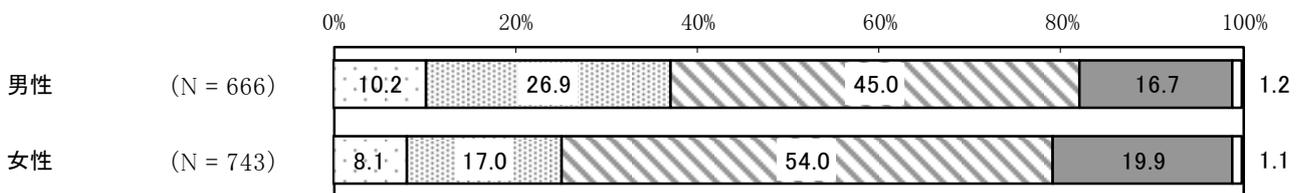
性別でみると、女性で「気にかけているが、できないことが多い」が55.6%と、男性と比べて9.4ポイント高くなっています。

## 6. あなたは日ごろからスポーツに親しんでいますか

- 日常的にスポーツをしている
- ときどきスポーツをしている
- スポーツをしたいが、できないことが多い
- スポーツをしようと思わない
- 無回答



### 【性別】

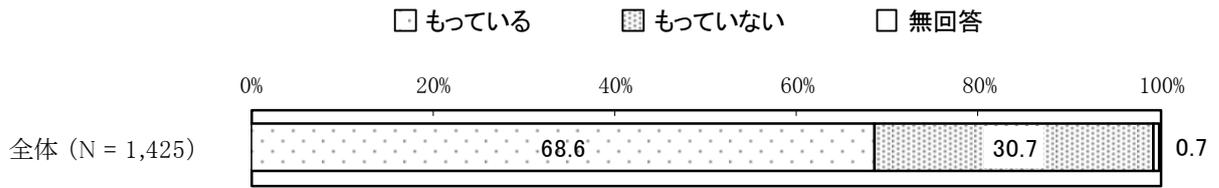


### ●日ごろからスポーツに親しんでいるかには「スポーツをしたいが、できないことが多い」が5割

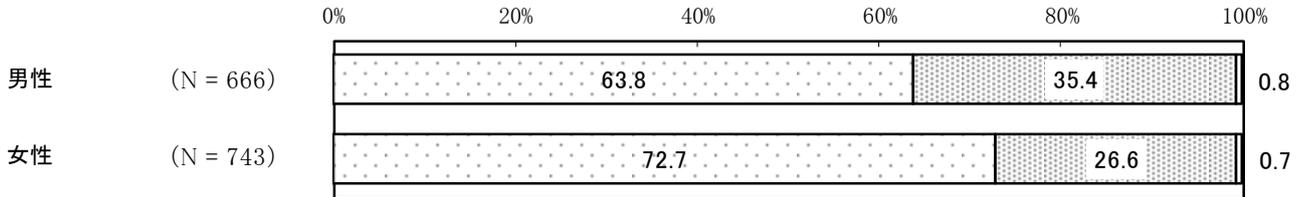
日ごろからスポーツに親しんでいるかは、全体で「スポーツをしたいが、できないことが多い」が50.0%と最も高く、次いで「ときどきスポーツをしている」が21.7%、「スポーツをしようと思わない」が18.2%となっています。

性別でみると、男性で「日常的にスポーツをしている」と「ときどきスポーツをしている」で37.1%と、女性に比べて12.0ポイント高くなっています。一方、女性で「スポーツをしたいが、できないことが多い」が54.0%と、男性に比べて9.0ポイント高くなっています。

## 7. あなたはかかりつけ医をもっていますか



### 【性別】

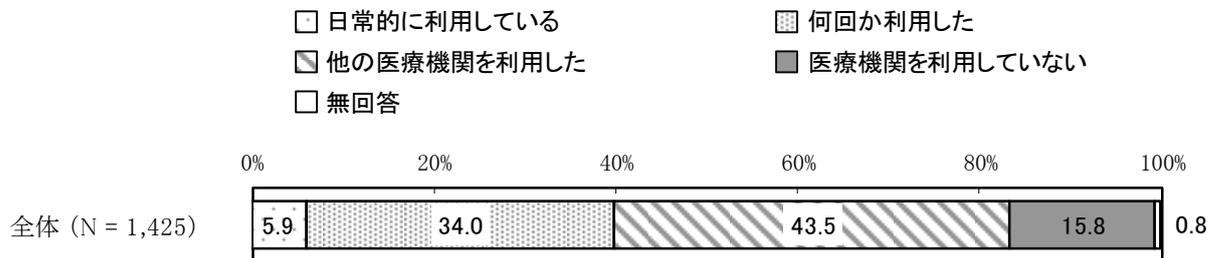


### ●かかりつけ医を「もっている」が約7割

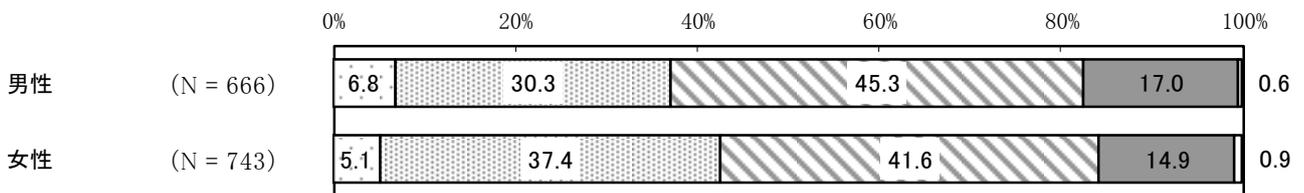
かかりつけ医があるかは、全体で「もっている」が68.6%、「もっていない」が30.7%となっています。

性別で見ると、男性で「もっていない」が35.4%と、女性に比べて8.8ポイント高くなっています。

## 8. あなたは市民病院が開院（平成26年）してから利用しましたか



### 【性別】



### ●「日常的に利用している」と「何回か利用した」で約4割

市民病院が開院してから利用しているかは、全体で「他の医療機関を利用した」が43.5%と最も高く、次いで「何回か利用した」が34.0%、「医療機関を利用していない」が15.8%、「日常的に利用している」が5.9%となっており、利用した方は合わせて39.9%となっています。

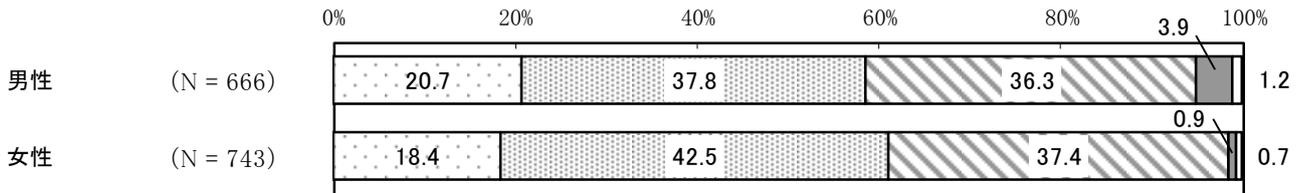
性別で見ると、女性で「何回か利用した」が37.4%と、男性に比べて7.1ポイント高くなっています。

## 9. あなたのご家庭では災害時の飲料水や食糧を備蓄していますか

- 3日分程度の備蓄をしている
- 3日分はないが、備蓄している
- 備蓄しようと思っているが、できていない
- 備蓄しようと思わない
- 無回答



### 【性別】



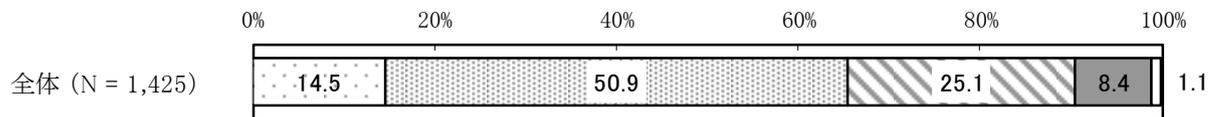
### ●災害時の飲料水や食糧を備蓄しているかは「3日分はないが、備蓄している」が4割

災害時の飲料水や食糧を備蓄しているかは、全体で「3日分はないが、備蓄している」が40.2%と最も高く、次いで「備蓄しようと思っているが、できていない」が37.1%、「3日分程度の備蓄をしている」が19.5%となっています。

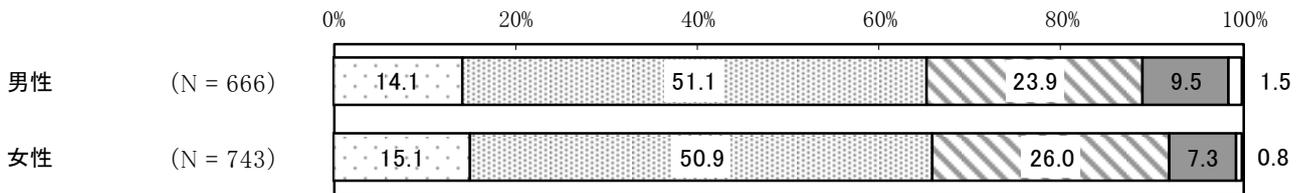
性別で、大きな差異はみられません。

## 10. あなたは稲沢市に対する誇りや愛着がありますか

- ある
- どちらかといえばある
- どちらかといえばない
- 全くない
- 無回答



### 【性別】



### ●稲沢市に対する誇りや愛着は「ある」と「どちらかといえばある」で6割半ば

稲沢市に対する誇りや愛着があるかは、全体で「どちらかといえばある」が50.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばない」が25.1%、「ある」が14.5%となっています。

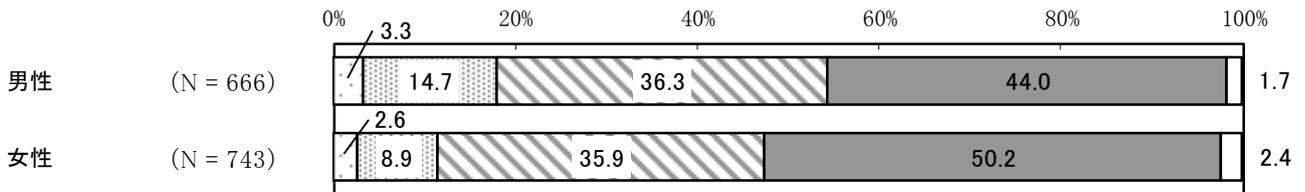
性別で、大きな差異はみられません。

## 11. あなたは行政と市民（企業やNPO含む）の協働によるまちづくり活動をしていますか

- 活動団体に所属して活動している
- 機会があれば、活動している
- 活動したいと思っているが、できていない
- 活動しようと思わない
- 無回答



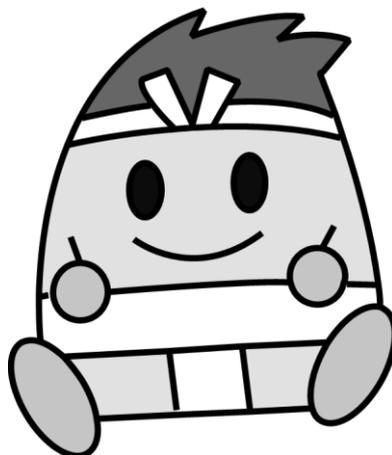
### 【性別】



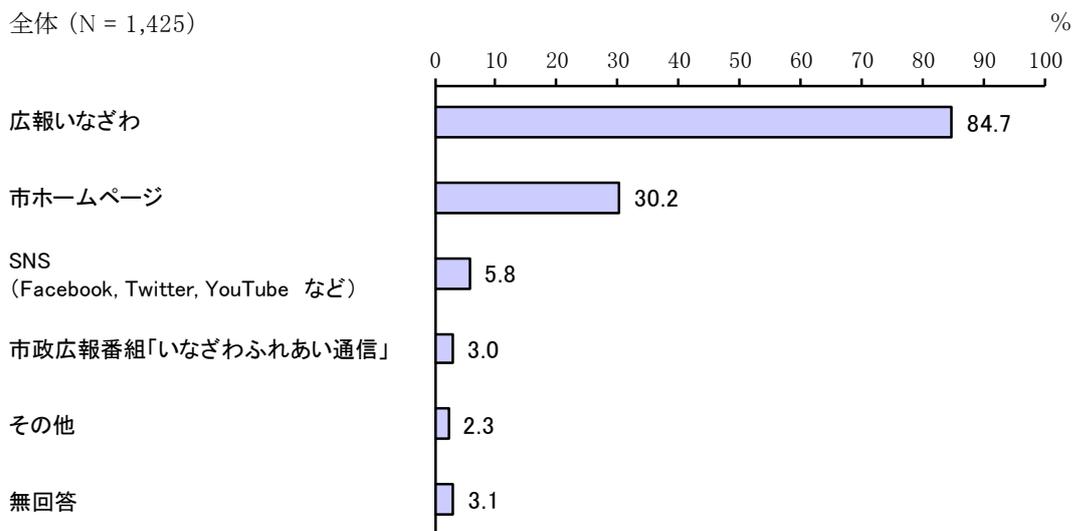
### ●行政と市民の協働によるまちづくり活動は「活動しようと思わない」が4割半ば

行政と市民の協働によるまちづくり活動をしているかは、全体で「活動しようと思わない」が47.3%と最も高く、次いで「活動したいと思っているが、できていない」が36.0%、「機会があれば、活動している」が11.7%となっています。

性別で見ると、男性で「機会があれば、活動している」で14.7%と、女性に比べて5.8ポイント高くなっています。一方、女性で「活動しようと思わない」が50.2%と、男性に比べて6.2ポイント高くなっています。



**問5 市政の情報を得るために、どのような媒体を利用していますか。**  
(あてはまるもの全てに○)



**【年齢別】**

単位：%

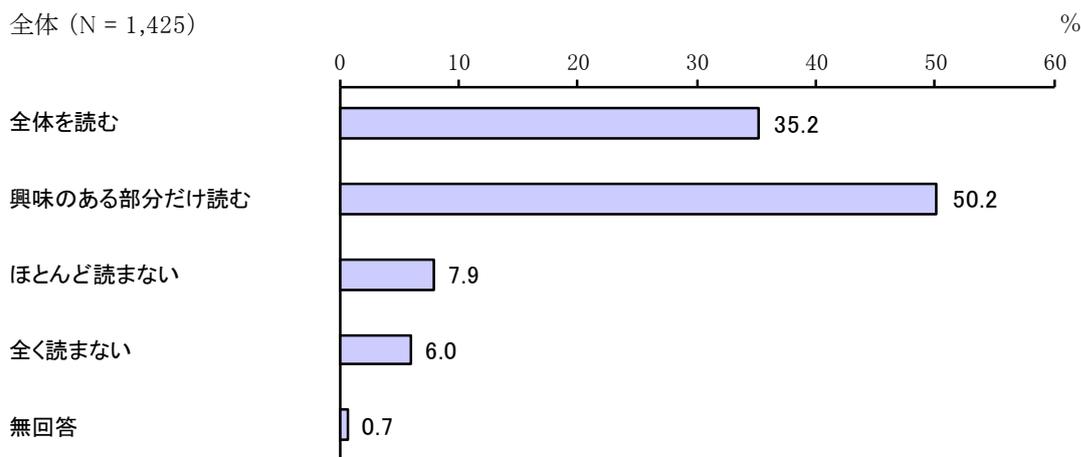
区分	有効回答数 (件)	広報いなざわ	市ホームページ	SNS (Facebook, Twitter, YouTube など)	市政広報番組「いなざわふれあい通信」	その他	無回答
18・19 歳	21	33.3	28.6	42.9	—	9.5	4.8
20 歳～29 歳	125	54.4	48.8	15.2	1.6	6.4	6.4
30 歳～39 歳	175	72.6	46.9	8.6	0.6	6.3	3.4
40 歳～49 歳	243	83.5	46.5	7.8	2.9	0.4	4.1
50 歳～59 歳	249	88.0	34.1	3.6	0.4	2.0	2.4
60 歳～64 歳	122	94.3	27.0	4.1	5.7	—	1.6
65 歳以上	481	96.0	9.8	1.2	5.2	1.2	2.1

**●市政の情報を得る媒体は「広報いなざわ」が高い割合**

「広報いなざわ」が84.7%と最も高く、次いで「市ホームページ」が30.2%となっています。

年齢別でみると、60歳～64歳、65歳以上で、「広報いなざわ」が9割半ばと高くなっています。また、20歳～49歳で「市ホームページ」が4割半ばとなっているほか、18・19歳で「SNS (Facebook, Twitter, YouTube など)」が約4割と、他の年齢よりも高くなっています。

**問6 稲沢市では、市政の情報を提供する「広報いなざわ」を発行しています。「広報いなざわ」をどの程度読んでいますか。(〇は1つだけ)**



**【年齢別】**

単位：%

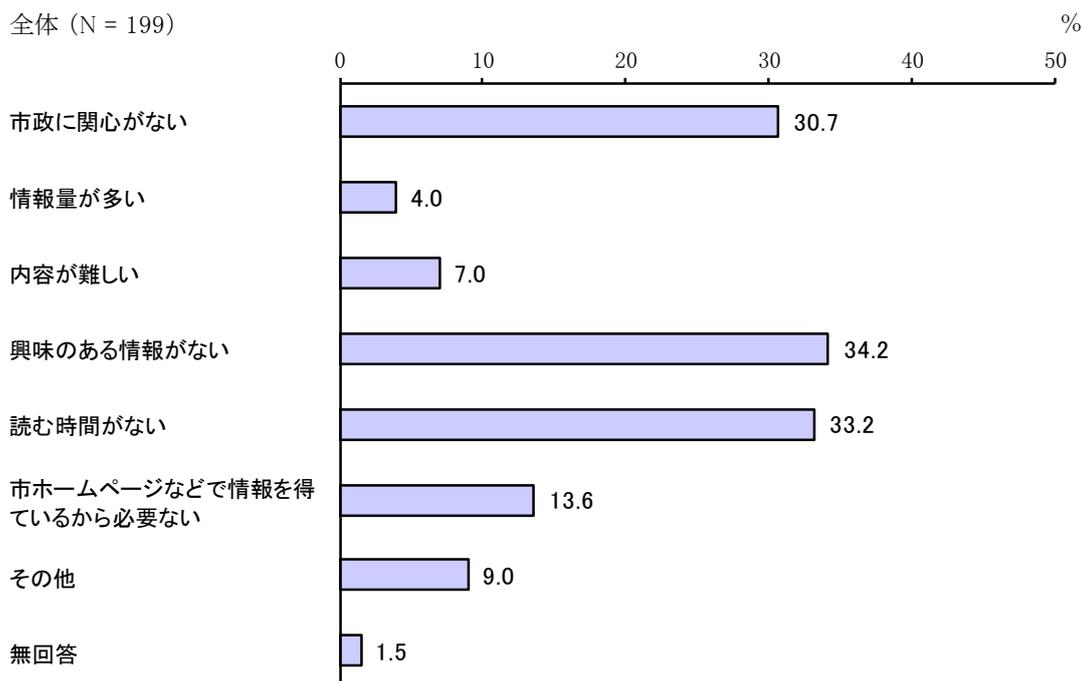
区分	有効回答数 (件)	全体を読む	興味のある部分だけ読む	ほとんど読まない	全く読まない	無回答
18・19 歳	21	—	23.8	33.3	42.9	—
20 歳～29 歳	125	16.8	42.4	19.2	20.0	1.6
30 歳～39 歳	175	24.6	50.3	12.6	12.6	—
40 歳～49 歳	243	31.7	53.9	7.4	5.3	1.6
50 歳～59 歳	249	30.9	57.8	6.8	3.6	0.8
60 歳～64 歳	122	37.7	54.1	4.9	2.5	0.8
65 歳以上	481	48.9	46.4	3.7	0.8	0.2

**●広報いなざわを「興味のある部分だけ読む」が約5割**

「興味のある部分だけ読む」が 50.2%と最も高く、次いで「全体を読む」が 35.2%となっています。

年齢別でみると、他に比べ、65歳以上で「全体を読む」の割合が高くなっています。また、18・19歳を除く全ての年代で「興味のある部分だけ読む」の割合が高くなっています。

問6で、「3. ほとんど読まない」「4. 全く読まない」と答えた方にお聞きします。  
問6-1 その理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)



【年齢別】

単位：%

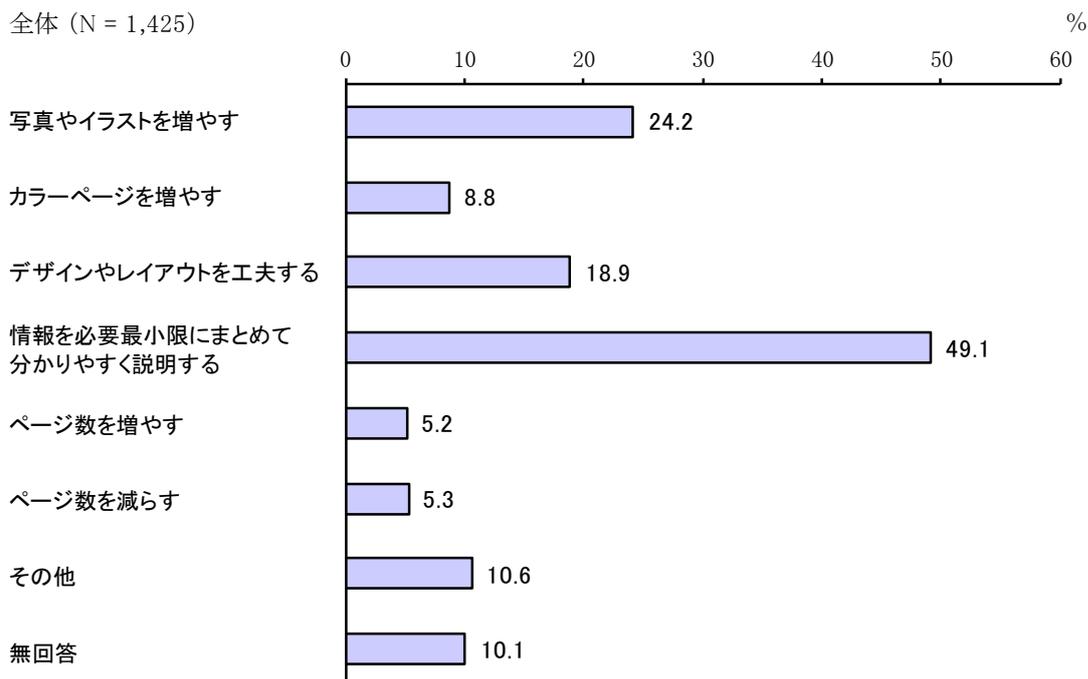
区分	有効回答数(件)	市政に関心がない	情報量が多い	内容が難しい	興味のある情報がない	読む時間がない	市ホームページなどで情報を得ているから必要ない	その他	無回答
18・19歳	16	50.0	6.3	—	25.0	31.3	12.5	6.3	—
20歳～29歳	49	28.6	4.1	6.1	38.8	40.8	14.3	6.1	—
30歳～39歳	44	27.3	4.5	9.1	27.3	34.1	15.9	6.8	4.5
40歳～49歳	31	22.6	—	3.2	38.7	35.5	12.9	12.9	—
50歳～59歳	26	34.6	3.8	3.8	30.8	23.1	23.1	7.7	—
60歳～64歳	9	44.4	11.1	11.1	33.3	33.3	—	11.1	—
65歳以上	22	31.8	4.5	18.2	40.9	22.7	4.5	13.6	4.5

● 「興味のある情報がない」「読む時間がない」「市政に関心がない」が高い割合

「興味のある情報がない」が34.2%と最も高く、次いで「読む時間がない」が33.2%、「市政に関心がない」が30.7%となっています。

年齢別でみると、他に比べ、18・19歳で「市政に関心がない」の割合が、20歳～29歳で「読む時間がない」の割合が、65歳以上で「興味のある情報がない」の割合が高くなっています。

問7 今後、「広報いなざわ」にどのような工夫や改善が必要だと思いますか。  
(あてはまるもの全てに○)



【年齢別】

単位：%

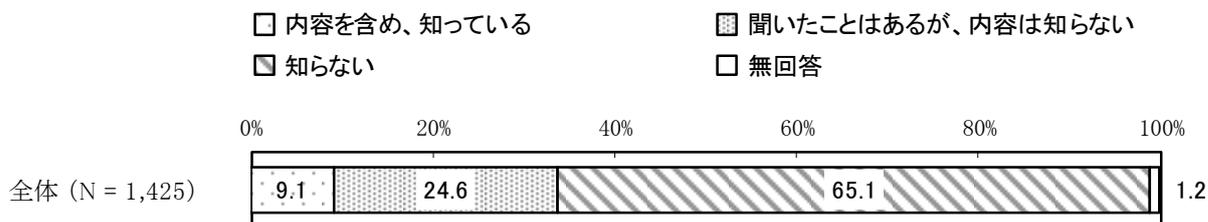
区分	有効回答数 (件)	写真やイラストを増やす	カラーページを増やす	デザインやレイアウトを工夫する	情報を必要最小限にまとめて分かりやすく説明する	ページ数を増やす	ページ数を減らす	その他	無回答
18・19 歳	21	33.3	9.5	33.3	28.6	—	33.3	23.8	9.5
20 歳～29 歳	125	24.8	12.0	25.6	37.6	3.2	3.2	10.4	16.8
30 歳～39 歳	175	29.1	10.9	28.6	36.6	1.7	6.9	15.4	9.1
40 歳～49 歳	243	26.7	14.0	23.9	41.2	4.5	3.3	12.3	11.1
50 歳～59 歳	249	22.5	5.6	22.5	48.6	7.6	4.0	11.6	9.2
60 歳～64 歳	122	23.0	9.0	12.3	58.2	6.6	5.7	11.5	5.7
65 歳以上	481	21.6	6.2	10.4	59.7	6.0	5.4	6.7	9.8

● 「情報を必要最小限にまとめて分かりやすく説明する」が約5割

「情報を必要最小限にまとめて分かりやすく説明する」が49.1%と最も高く、次いで「写真やイラストを増やす」が24.2%、「デザインやレイアウトを工夫する」が18.9%となっています。

年齢別でみると、18・19歳を除く全ての年代で「情報を必要最小限にまとめて分かりやすく説明する」が高くなっています。

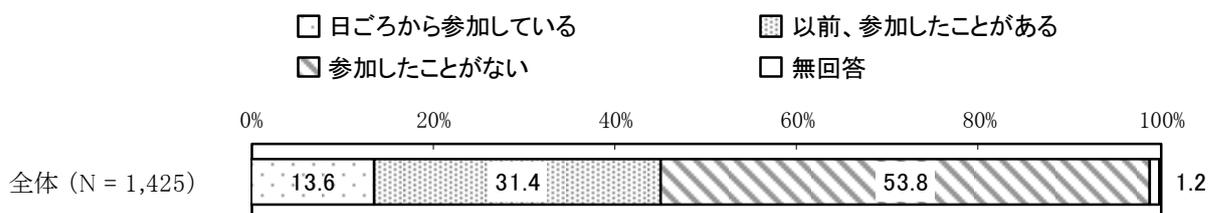
**問8** 平成31年4月1日から、高齢者や障害のある方、妊娠中の方などの外出を支援する事業として「稲沢おでかけタクシー実証実験事業」を実施しています。この事業について、どの程度知っていますか。(〇は1つだけ)



●稲沢おでかけタクシー実証実験事業を「知らない」が6割半ば

「知らない」が65.1%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が24.6%となっています。

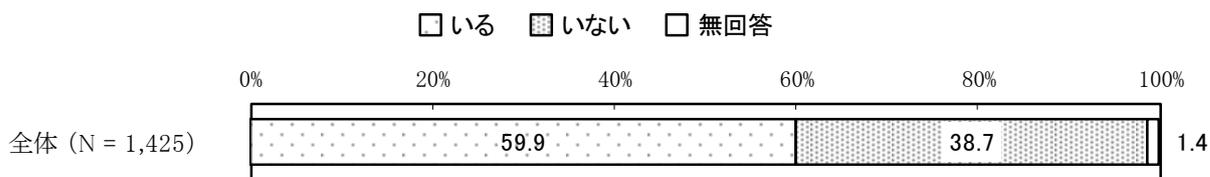
**問9** 地域の活動やボランティア活動に参加したことがありますか。(〇は1つだけ)



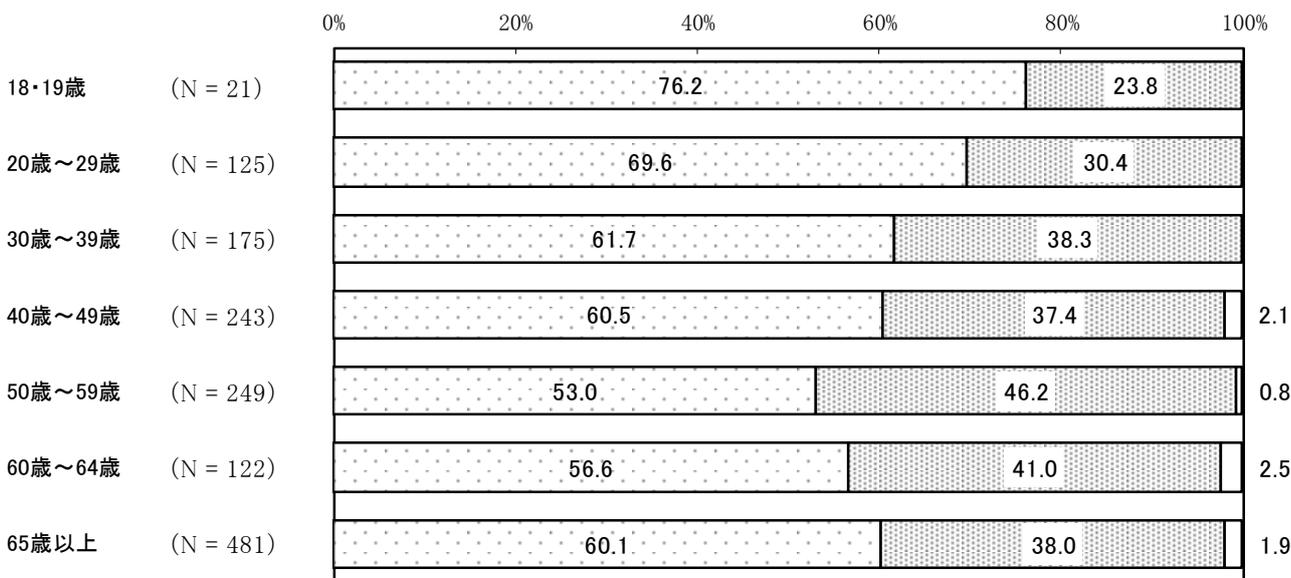
●地域の活動やボランティア活動に「参加したことがない」が5割半ば

「参加したことがない」が53.8%と最も高く、次いで「以前、参加したことがある」が31.4%、「日ごろから参加している」が13.6%となっています。

**問 10 台風など災害時に避難する際、家族や近所の方など、手助けをお願いできる人がいますか。(どちらかに○)**



**【年齢別】**

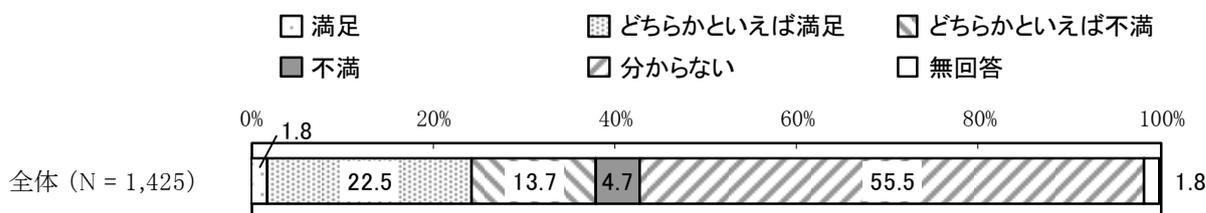


**●災害時に手助けをお願いできる人が「いる」が約6割**

「いる」が59.9%、「いない」が38.7%となっています。

年齢別でみると、50歳～59歳で「いない」が4割半ばと、他の年齢よりも高くなっています。

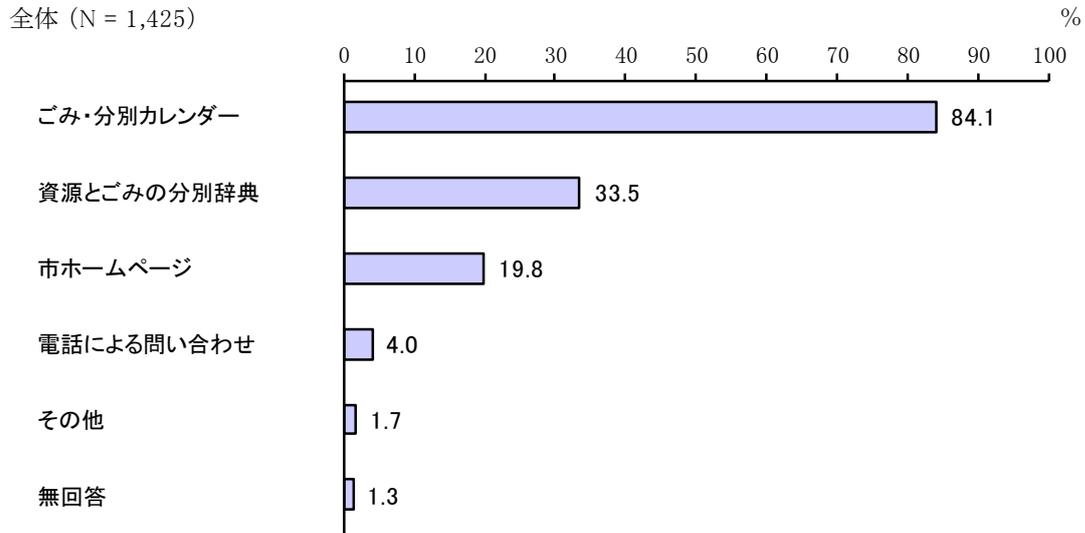
**問 11 稲沢市の福祉事業・活動全般について、どの程度満足していますか。(○は1つだけ)**



**●福祉事業・活動全般の満足度は「満足」と「どちらかといえば満足」で2割半ば**

「分からない」が55.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば満足」が22.5%、「どちらかといえば不満」が13.7%となっています。

問 12 ごみの収集日や分別方法を知りたいとき、どのような媒体を利用しますか。  
(あてはまるもの全てに○)



【性別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	ごみ・分別カレンダー	資源とごみの分別辞典	市ホームページ	電話による問い合わせ	その他	無回答
男性	666	82.6	27.6	19.2	3.3	2.0	2.3
女性	743	85.5	39.0	20.5	4.6	1.3	0.4

## 【年齢別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	ごみ・分別カレンダー	資源とごみの分別辞典	市ホームページ	電話による問い合わせ	その他	無回答
18・19歳	21	76.2	4.8	28.6	—	9.5	—
20歳～29歳	125	74.4	21.6	29.6	3.2	2.4	2.4
30歳～39歳	175	77.7	31.4	39.4	1.7	1.7	—
40歳～49歳	243	83.5	34.6	34.2	3.7	0.8	1.6
50歳～59歳	249	87.6	34.5	20.9	4.0	1.2	0.4
60歳～64歳	122	89.3	36.9	9.8	3.3	1.6	—
65歳以上	481	87.1	37.0	4.2	5.4	1.7	1.9

## 【居住年数別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	ごみ・分別カレンダー	資源とごみの分別辞典	市ホームページ	電話による問い合わせ	その他	無回答
1年未満	29	75.9	17.2	27.6	3.4	3.4	3.4
1年以上5年未満	91	87.9	27.5	30.8	2.2	1.1	—
5年以上10年未満	97	82.5	27.8	36.1	2.1	1.0	2.1
10年以上15年未満	100	77.0	35.0	34.0	5.0	3.0	2.0
15年以上20年未満	112	85.7	32.1	18.8	3.6	2.7	0.9
20年以上	986	84.8	35.3	15.6	4.3	1.4	1.2

### ● 「ごみ・分別カレンダー」の利用が8割半ば

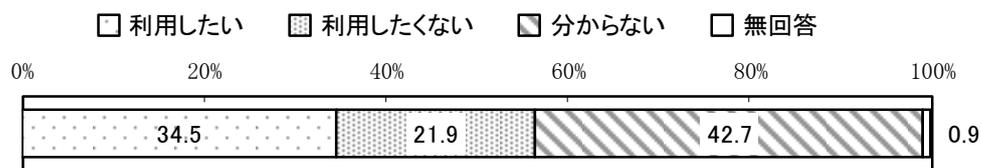
「ごみ・分別カレンダー」が84.1%と最も高く、次いで「資源とごみの分別辞典」が33.5%、「市ホームページ」が19.8%となっています。

性別でみると、女性で「資源とごみの分別辞典」の割合が高くなっています。

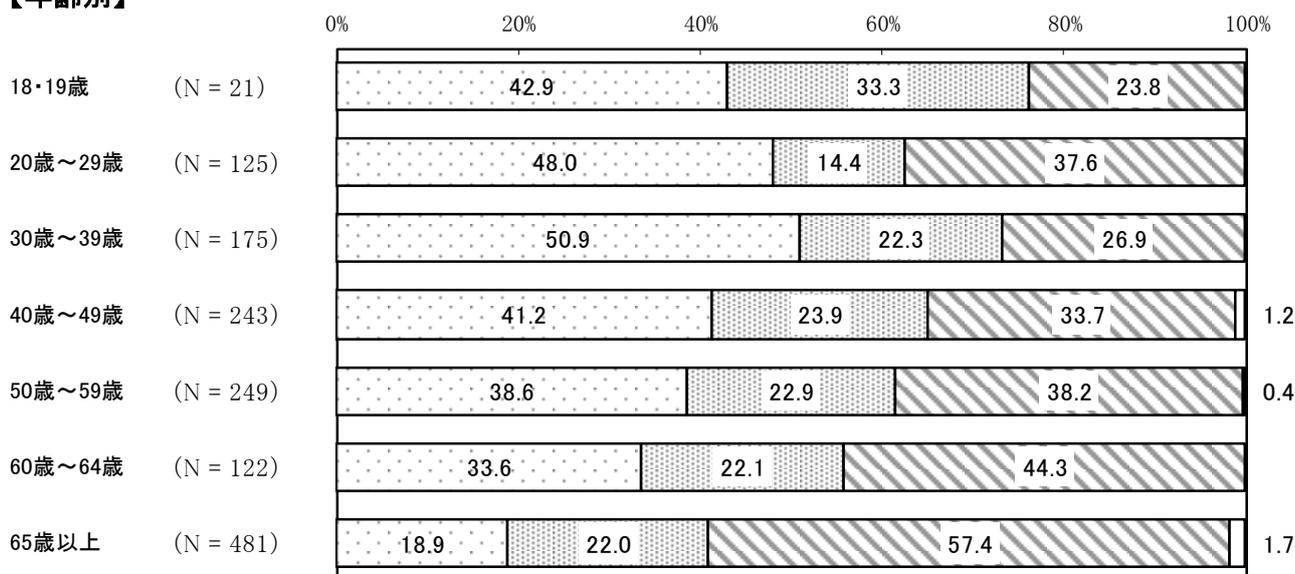
年齢別でみると、全ての年齢で「ごみ・分別カレンダー」の割合が高くなっています。

居住年数別でみると、全ての居住年数で「ごみ・分別カレンダー」の割合が高くなっています。

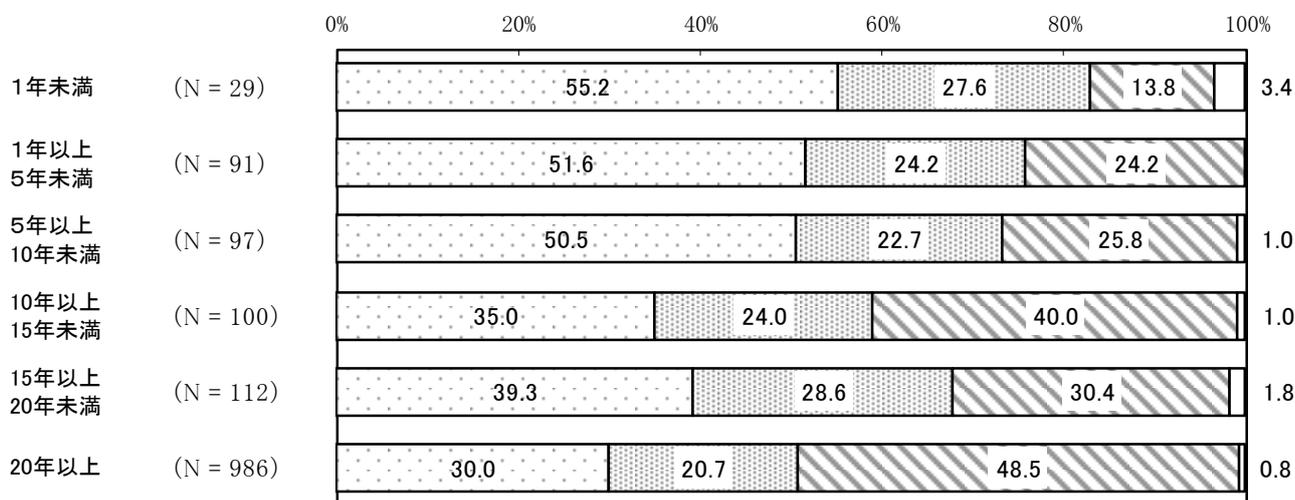
**問 13** ごみの分別方法を検索したり、ごみの収集日をお知らせする機能がついたスマートフォン用アプリ（ごみ分別アプリ）を導入した場合、利用したいと思いますか。（○は1つだけ）



**【年齢別】**



**【居住年数別】**



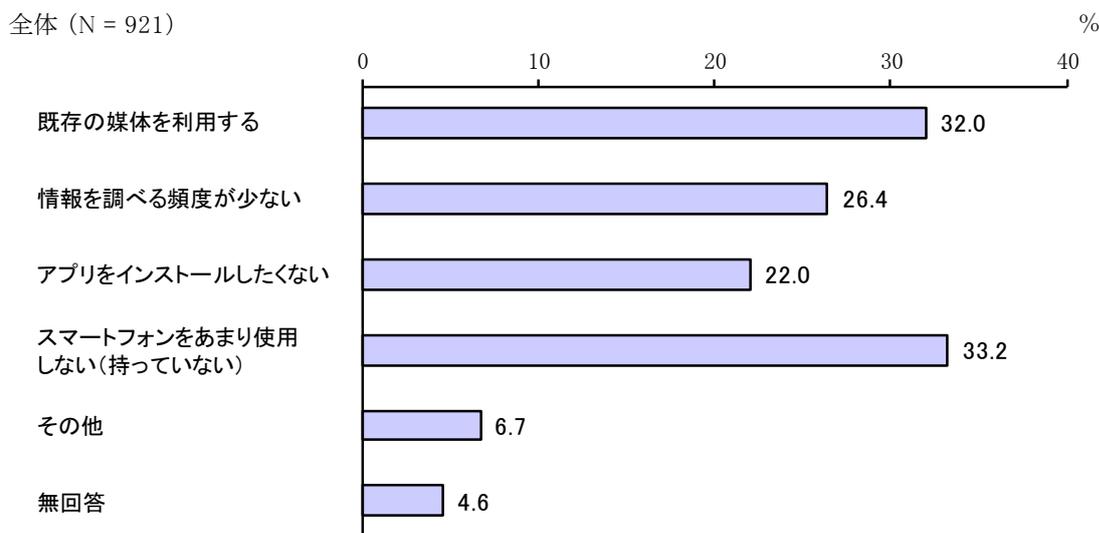
**●ごみ分別アプリを「利用したい」は3割半ば**

「分からない」が42.7%と最も高く、次いで「利用したい」が34.5%、「利用したくない」が21.9%となっています。

年齢別でみると、20歳～29歳、30歳～39歳で「利用したい」が約5割と、他の年齢よりも高くなっています。

居住年数別でみると、1年未満～10年未満で「利用したい」が5割と、他の居住年数よりも高くなっています。

問 13 で、「2. 利用したくない」「3. 分からない」と答えた方にお聞きします。  
 問 13-1 その理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)



【年齢別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	既存の媒体を利用する	情報を調べる頻度が少ない	アプリをインストールしたくない	スマートフォンをあまり使用しない(持っていない)	その他	無回答
18・19 歳	12	16.7	41.7	58.3	—	8.3	—
20 歳～29 歳	65	49.2	38.5	24.6	1.5	7.7	1.5
30 歳～39 歳	86	30.2	38.4	32.6	8.1	15.1	2.3
40 歳～49 歳	140	37.9	35.0	41.4	11.4	8.6	5.7
50 歳～59 歳	152	38.2	35.5	24.3	19.1	8.6	3.9
60 歳～64 歳	81	38.3	22.2	24.7	32.1	3.7	1.2
65 歳以上	382	24.3	14.9	9.4	59.4	3.9	6.3

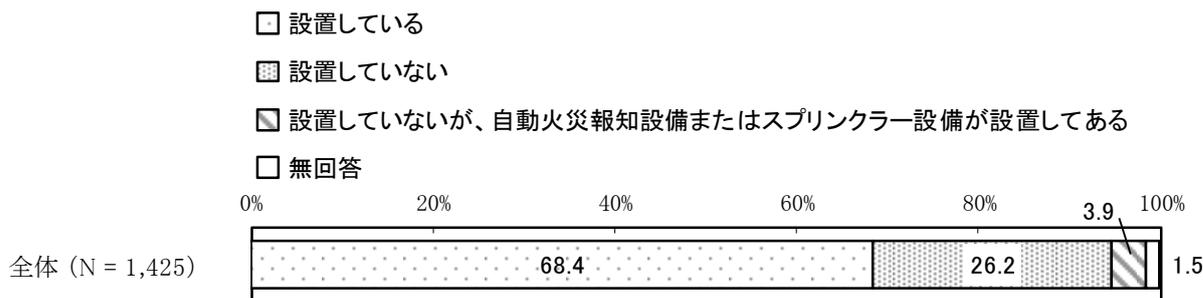
● 「利用したくない」、「分からない」理由は「既存の媒体を利用する」「スマートフォンをあまり使用しない (持っていない)」が 3 割半ば

「スマートフォンをあまり使用しない (持っていない)」が 33.2%と最も高く、次いで「既存の媒体を利用する」が 32.0%、「情報を調べる頻度が少ない」が 26.4%となっています。

年齢別でみると、18・19 歳で「アプリをインストールしたくない」が、65 歳以上で「スマートフォンをあまり使用しない (持っていない)」が約 6 割と、他の年齢よりも高くなっています。

また 20 歳～29 歳で「既存の媒体を利用する」が 49.2%と高くなっています。

**問 14 お住まいの住宅に住宅用火災警報器は設置されていますか。(○は1つだけ)**

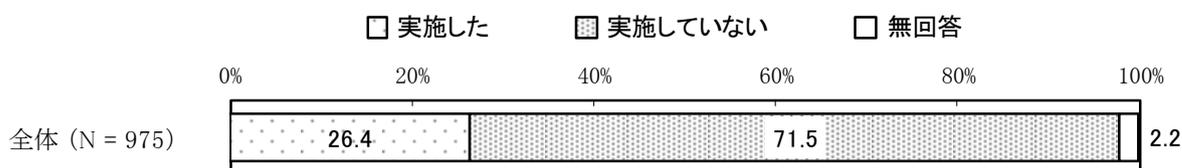


**●住宅用火災警報器を「設置している」が約7割**

「設置している」が68.4%と最も高く、次いで「設置していない」が26.2%となっています。

**問 14 で、「1. 設置している」と答えた方にお聞きします。**

**問 14-1 住宅用火災警報器の作動確認を半年以内に実施しましたか。(どちらかに○)**

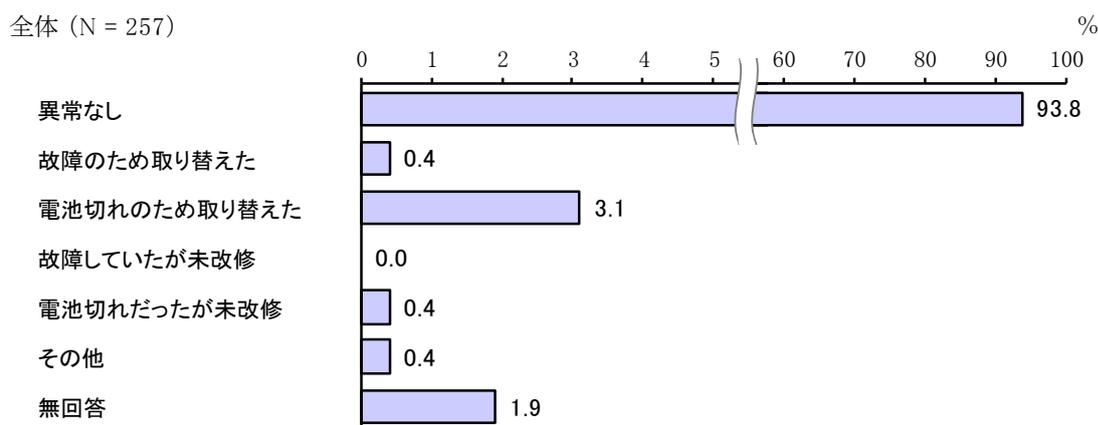


**●半年以内に作動確認を「実施した」が2割半ば**

「実施した」が26.4%、「実施していない」が71.5%となっています。

**問 14-1 で、「1. 実施した」と答えた方にお聞きします。**

**問 14-2 作動確認を実施した結果について選んでください。(○は1つだけ)**

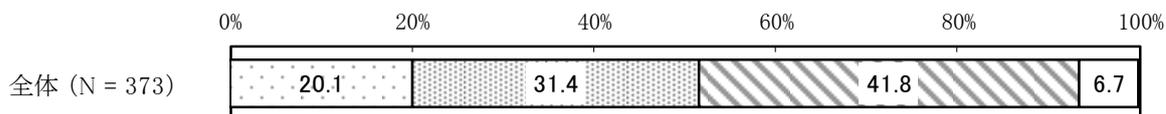


**●作動確認を実施した結果は「異常なし」が9割半ば**

「異常なし」が93.8%と最も高くなっています。

**問 14-3 稲沢市では、火災予防条例で住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。住宅用火災警報器を設置する義務があることを知っていましたか。  
(○は1つだけ)**

- 知っていた
- 条例は知らなかったが、設置が必要なことは知っていた
- 知らなかった
- 無回答

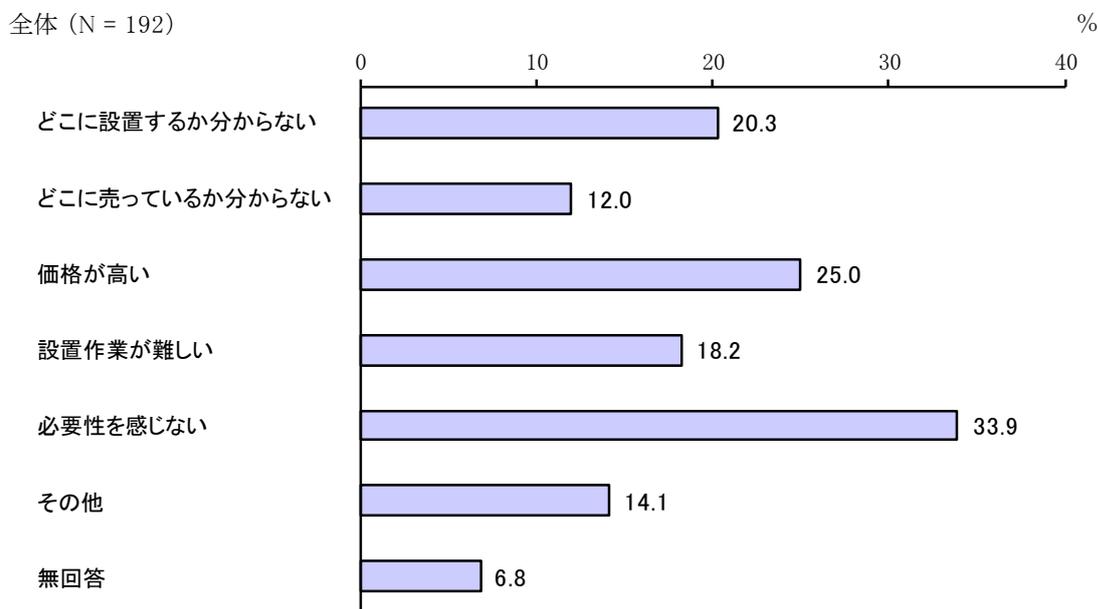


**●住宅用火災警報器の設置義務について「知らなかった」が約4割**

「知らなかった」が41.8%と最も高く、次いで「条例は知らなかったが、設置が必要なことは知っていた」が31.4%、「知っていた」が20.1%となっています。

**問 14-3 で、「1. 知っていた」「2. 条例は知らなかったが、設置が必要なことは知っていた」と答えた方にお聞きします。**

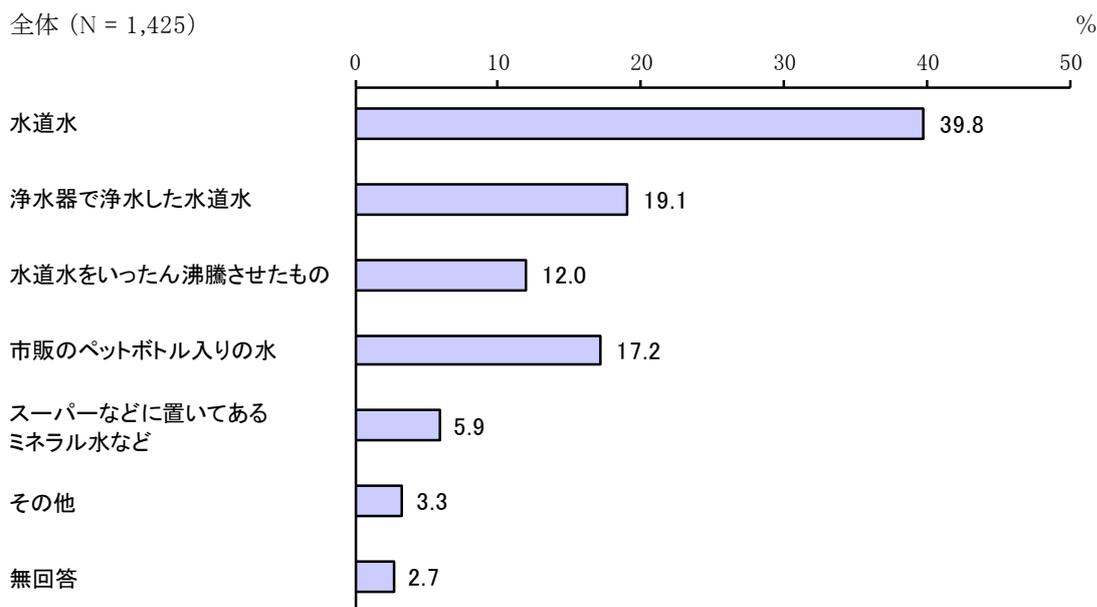
**問 14-4 設置していない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)**



**●設置していない理由は「必要性を感じない」が3割半ば**

「必要性を感じない」が33.9%と最も高く、次いで「価格が高い」が25.0%、「どこに設置するか分からない」が20.3%となっています。

**問 15 飲料水として、最も利用する水は何ですか。(〇は1つだけ)**



**【年齢別】**

単位：%

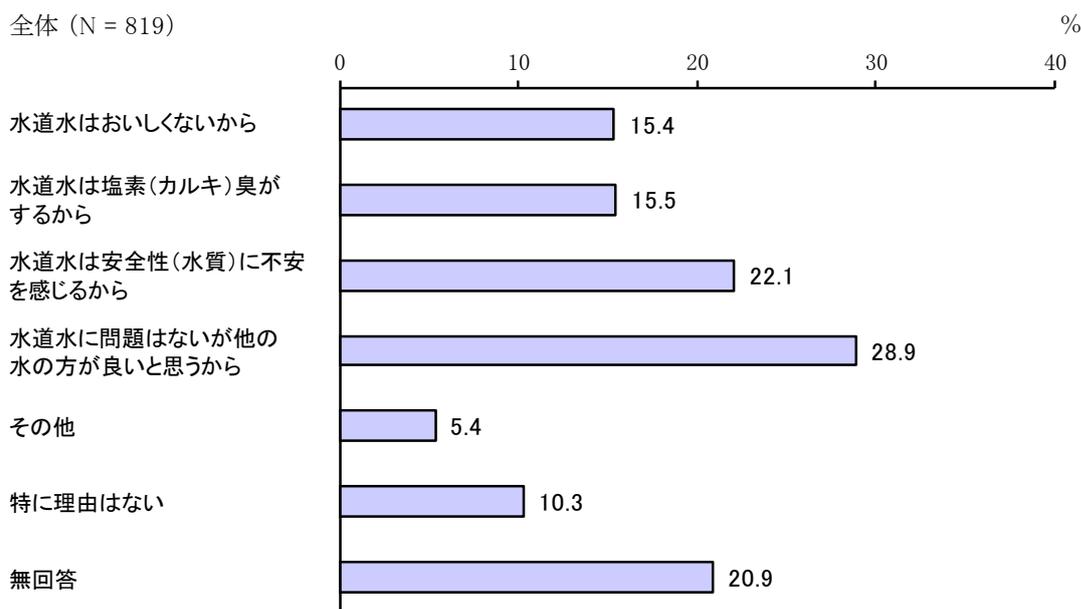
区分	有効回答数(件)	水道水	浄水器で浄水した水道水	水道水をいったん沸騰させたもの	市販のペットボトル入りの水	スーパーなどに置いてあるミネラル水など	その他	無回答
18・19 歳	21	38.1	14.3	14.3	19.0	14.3	—	—
20 歳～29 歳	125	29.6	24.8	13.6	20.0	7.2	4.0	0.8
30 歳～39 歳	175	25.1	30.3	9.7	20.0	5.7	6.9	2.3
40 歳～49 歳	243	33.3	18.1	11.5	23.0	6.6	3.3	4.1
50 歳～59 歳	249	35.7	23.3	10.0	20.9	5.2	2.0	2.8
60 歳～64 歳	122	39.3	21.3	13.1	14.8	6.6	2.5	2.5
65 歳以上	481	53.6	11.6	13.1	11.4	4.8	2.7	2.7

● 「水道水を利用」が65歳以上で高い割合

「水道水」が39.8%と最も高く、次いで「浄水器で浄水した水道水」が19.1%、「市販のペットボトル入りの水」が17.2%となっています。

年齢別でみると、他に比べ、65歳以上で「水道水」の割合が高くなっています。また、30歳～39歳で「浄水器で浄水した水道水」の割合が高くなっています。

問 15 で、「1. 水道水」以外と答えた方にお聞きします。  
 問 15-1 その理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)



【年齢別】

単位：%

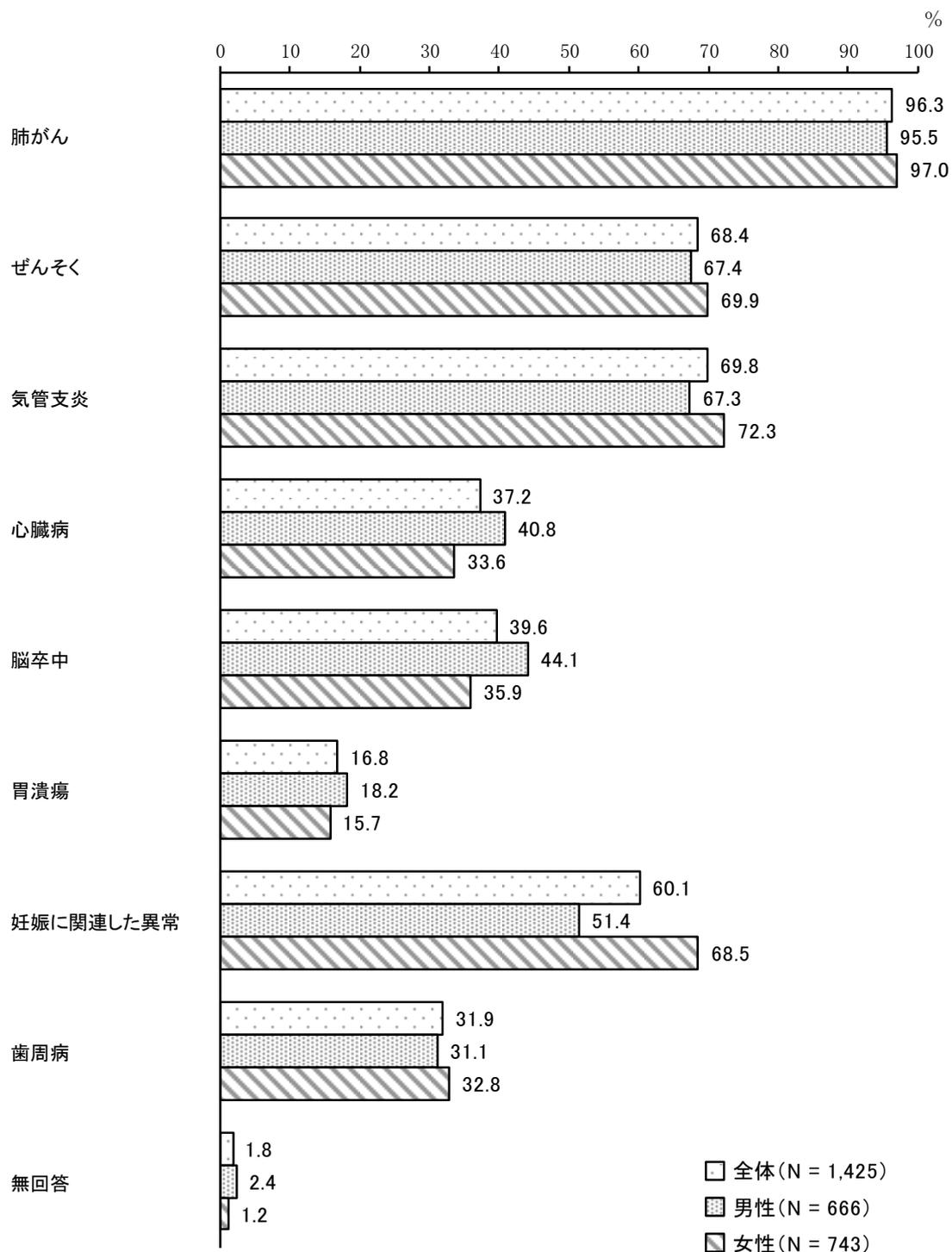
区分	有効回答数(件)	水道水はおいしくないから	水道水は塩素(カルキ)臭がするから	水道水は安全性(水質)に不安を感じるから	水道水に問題はないが他の水の方が良いと思うから	その他	特に理由はない	無回答
18・19 歳	13	15.4	15.4	7.7	30.8	7.7	46.2	15.4
20 歳～29 歳	87	16.1	11.5	23.0	23.0	4.6	11.5	23.0
30 歳～39 歳	127	20.5	17.3	29.9	27.6	7.9	7.9	15.0
40 歳～49 歳	152	17.8	20.4	24.3	29.6	7.2	8.6	14.5
50 歳～59 歳	153	14.4	11.8	26.8	27.5	5.2	7.2	22.2
60 歳～64 歳	71	14.1	18.3	14.1	36.6	1.4	7.0	22.5
65 歳以上	210	11.9	14.3	15.7	30.5	3.8	13.8	26.7

● 「水道水に問題はないが他の水の方が良いと思うから」が高い割合

「水道水に問題はないが他の水の方が良いと思うから」が 28.9%と最も高く、次いで「水道水は安全性(水質)に不安を感じるから」が 22.1%、「水道水は塩素(カルキ)臭がするから」が 15.5%となっています。

年齢別でみると、他に比べ、60 歳～64 歳で「水道水に問題はないが他の水の方が良いと思うから」の割合が高くなっています。

問 16 次の病気のうち、たばこが影響すると知っているものはありますか。  
 (あてはまるもの全てに○)



## 【年齢別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	肺がん	ぜんそく	気管支炎	心臓病	脳卒中	胃潰瘍	妊娠に関する異常	歯周病	無回答
18・19 歳	21	95.2	76.2	66.7	38.1	47.6	9.5	85.7	52.4	4.8
20 歳～29 歳	125	99.2	65.6	76.8	40.8	41.6	19.2	76.0	44.0	0.8
30 歳～39 歳	175	97.1	63.4	70.3	33.1	43.4	17.7	76.6	42.9	1.7
40 歳～49 歳	243	95.5	70.0	66.3	35.4	44.9	16.9	69.5	34.6	2.9
50 歳～59 歳	249	95.2	66.7	65.9	38.6	44.2	18.5	62.7	32.5	1.6
60 歳～64 歳	122	95.9	72.1	69.7	38.5	41.8	15.6	63.1	31.1	2.5
65 歳以上	481	96.5	70.1	71.9	37.4	32.0	15.6	42.6	22.5	1.2

### ●たばこが影響する病気として多くの方が「肺がん」と認識

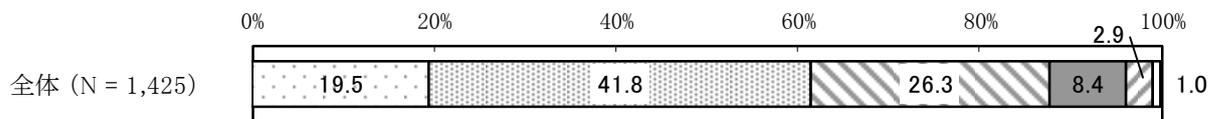
「肺がん」が 96.3%と最も高く、次いで「気管支炎」が 69.8%、「ぜんそく」が 68.4%となっています。

性別で見ると、男性で「心臓病」「脳卒中」の割合が高くなっています。一方、女性で「気管支炎」「妊娠に関連した異常」の割合が高くなっています。

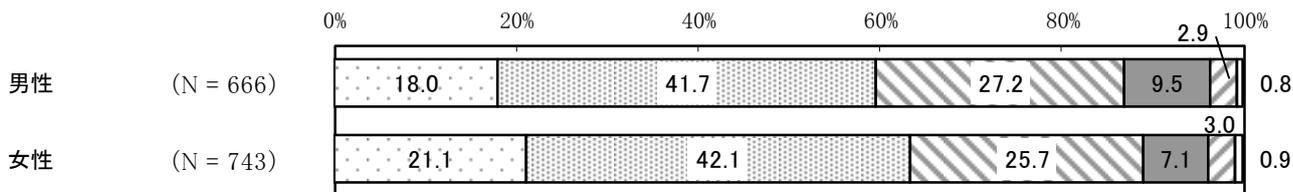
年齢別で見ると、全ての年齢で「肺がん」の割合が高くなっています。また、18・19 歳で「妊娠に関連した異常」が 8 割半ばと、他の年齢に比べ高くなっています。

問 17 あなたは心身ともに健康だと思いますか。(〇は1つだけ)

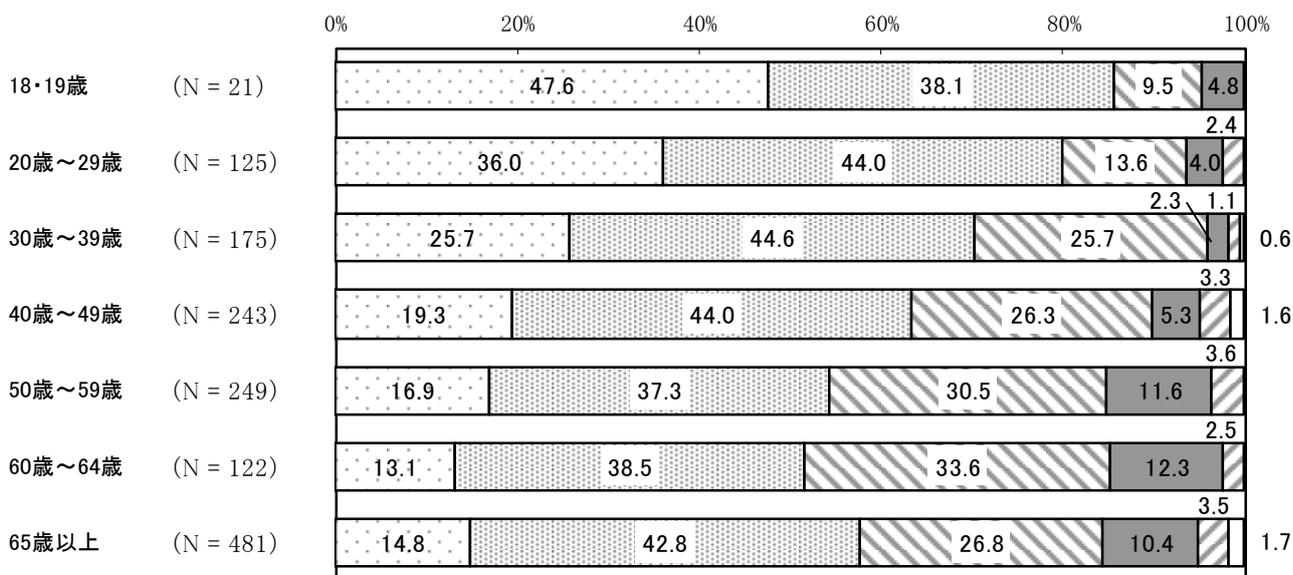
- そう思う
- ▨ やや思う
- ▩ あまり思わない
- 全く思わない
- ▨ 分からない
- 無回答



【性別】

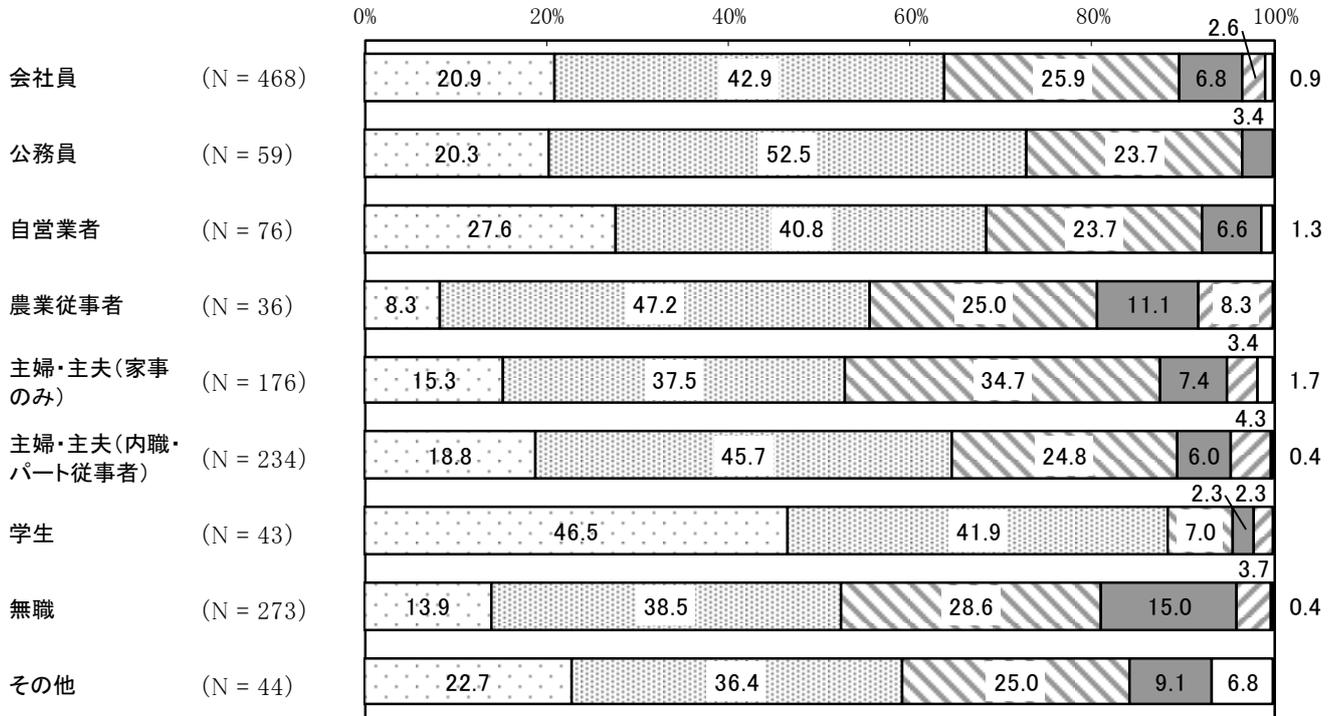


【年齢別】



【職業別】

□ そう思う      ■ やや思う      ▨ あまり思わない  
 ■ 全く思わない      ▩ 分からない      □ 無回答



●健康感について「そう思う」と「やや思う」で約6割

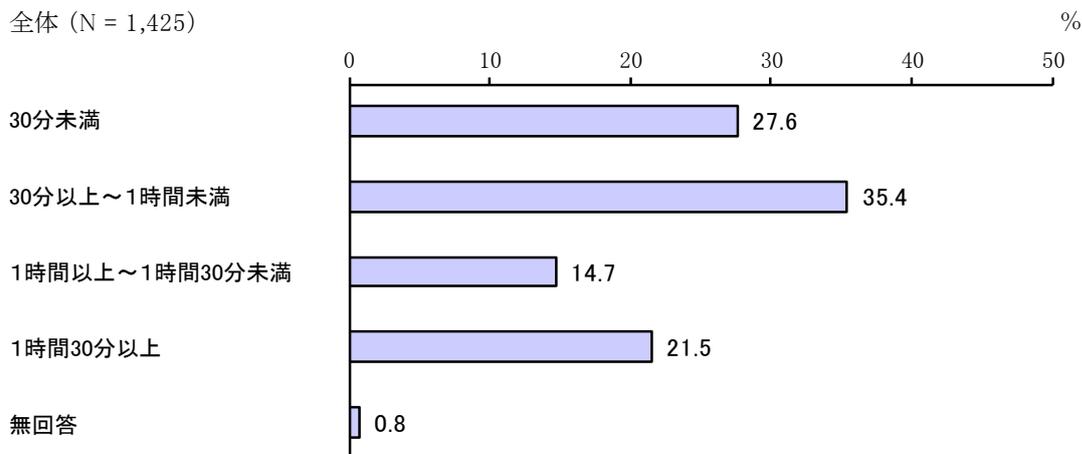
「やや思う」が41.8%と最も高く、次いで「あまり思わない」が26.3%、「そう思う」が19.5%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれて「そう思う」の割合が高くなる傾向がみられます。

職業別でみると、他に比べ、学生で「そう思う」の割合が高くなっています。また、無職で「全く思わない」が1割半ばと、他の職業に比べ高くなっています。

問 18 日常生活（仕事や家事などを含む）において、1日にどの程度歩いていますか。  
（○は1つだけ）



【性・年齢別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	30分未満	30分以上～1時間未満	1時間以上～1時間30分未満	1時間30分以上	無回答
男性 18・19 歳	9	33.3	44.4	22.2	—	—
20～29 歳	61	26.2	36.1	18.0	18.0	1.6
30～39 歳	78	19.2	37.2	17.9	25.6	—
40～49 歳	121	32.2	36.4	12.4	16.5	2.5
50～59 歳	110	35.5	30.9	11.8	20.9	0.9
60～64 歳	49	24.5	40.8	10.2	24.5	—
65 歳以上	237	29.5	38.8	13.9	16.9	0.8
女性 18・19 歳	12	33.3	66.7	—	—	—
20～29 歳	62	30.6	27.4	12.9	29.0	—
30～39 歳	97	32.0	28.9	13.4	25.8	—
40～49 歳	119	26.1	36.1	16.0	21.8	—
50～59 歳	136	24.3	30.1	19.9	25.0	0.7
60～64 歳	72	25.0	29.2	9.7	36.1	—
65 歳以上	244	22.5	40.2	17.2	18.9	1.2

【職業別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	30分未満	30分以上 ～1時間 未満	1時間以上 ～1時 間30分未満	1時間 30分 以上	無回答
会社員	468	28.8	35.9	13.9	20.7	0.6
公務員	59	25.4	47.5	13.6	13.6	—
自営業者	76	17.1	26.3	17.1	38.2	1.3
農業従事者	36	16.7	25.0	16.7	41.7	—
主婦・主夫(家事のみ)	176	27.3	39.2	18.2	15.3	—
主婦・主夫(内職・パート従事者)	234	22.6	27.8	15.8	32.9	0.9
学生	43	39.5	44.2	7.0	9.3	—
無職	273	35.5	38.1	15.0	11.0	0.4
その他	44	11.4	36.4	9.1	34.1	9.1

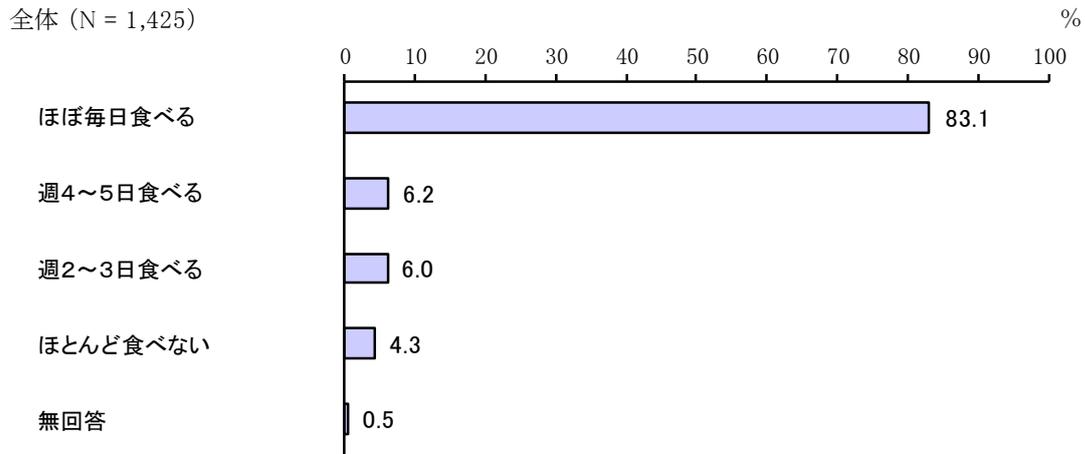
●日常生活における歩く時間は「30分以上～1時間未満」が3割半ば

「30分以上～1時間未満」が35.4%と最も高く、次いで「30分未満」が27.6%、「1時間30分以上」が21.5%となっています。

性・年齢別で見ると、60歳～64歳の女性を除く全ての年代で男性、女性ともに“1時間未満”の割合が高くなっています。

職業別で見ると、他に比べ、公務員で「30分以上～1時間未満」の割合が高くなっており、学生で「30分未満」が約4割と、他の職業に比べ高くなっています。また、自営業者、農業従事者、主婦・主夫（内職・パート従事者）で「1時間30分以上」の割合が高くなっています。

問 19 1日3回の食事をどの程度摂れていますか。(○は1つだけ)



【性・年齢別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	ほぼ毎日食べる	週に4~5日食べる	週に2~3日食べる	ほとんど食べない	無回答
男性 18・19 歳	9	55.6	22.2	—	22.2	—
20~29 歳	61	57.4	19.7	9.8	13.1	—
30~39 歳	78	76.9	7.7	10.3	5.1	—
40~49 歳	121	77.7	4.1	10.7	5.0	2.5
50~59 歳	110	70.0	8.2	7.3	14.5	—
60~64 歳	49	87.8	10.2	—	2.0	—
65 歳以上	237	93.7	2.5	1.7	1.7	0.4
女性 18・19 歳	12	75.0	25.0	—	—	—
20~29 歳	62	59.7	12.9	19.4	8.1	—
30~39 歳	97	80.4	10.3	5.2	4.1	—
40~49 歳	119	87.4	4.2	6.7	1.7	—
50~59 歳	136	90.4	2.2	5.1	2.2	—
60~64 歳	72	86.1	5.6	5.6	2.8	—
65 歳以上	244	91.4	3.7	2.9	1.2	0.8

【職業別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	ほぼ毎日食べる	週に4～5日食べる	週に2～3日食べる	ほとんど食べない	無回答
会社員	468	77.1	7.9	7.9	6.6	0.4
公務員	59	86.4	3.4	5.1	5.1	—
自営業者	76	82.9	3.9	6.6	5.3	1.3
農業従事者	36	94.4	2.8	—	2.8	—
主婦・主夫(家事のみ)	176	90.3	4.0	5.1	0.6	—
主婦・主夫(内職・パート従事者)	234	87.2	4.3	4.7	3.4	0.4
学生	43	58.1	25.6	9.3	7.0	—
無職	273	90.8	4.0	2.9	2.2	—
その他	44	59.1	13.6	15.9	6.8	4.5

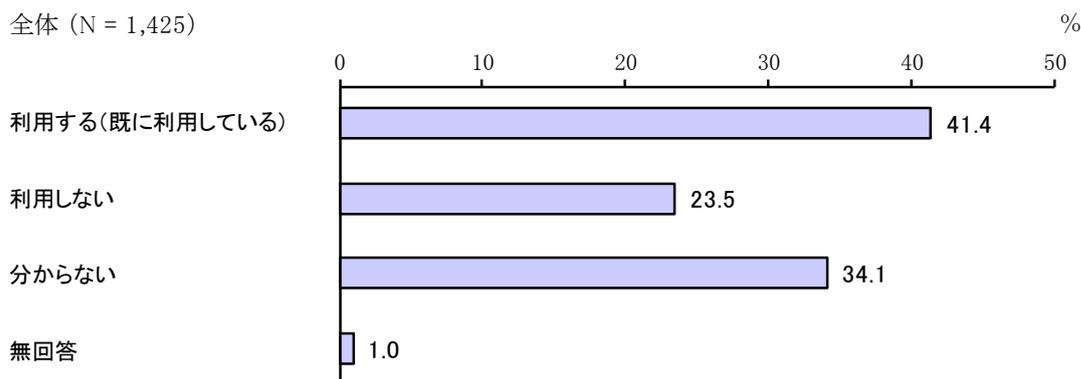
● 1日3回の食事を「ほぼ毎日食べる」が8割半ば

「ほぼ毎日食べる」が83.1%と最も高くなっています。

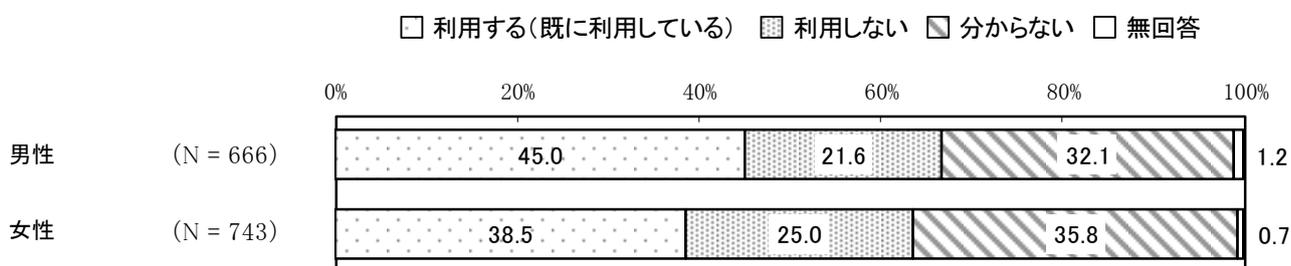
性・年齢別で見ると、他に比べ、18・19歳の男性と20～29歳の男女で「ほぼ毎日食べる」の割合が低くなっています。

職業別で見ると、他に比べ、学生で「ほぼ毎日食べる」の割合が低くなっています。

**問 20 あなたや家族の方が病気などになったとき、稲沢市民病院を利用しますか。  
(○は1つだけ)**



**【性別】**



**【年齢別】**

単位：%

区分	有効回答数 (件)	利用する (既に利用している) (%)	利用しない (%)	分からない (%)	無回答 (%)
18・19 歳	21	33.3	33.3	33.3	—
20 歳～29 歳	125	44.8	17.6	37.6	—
30 歳～39 歳	175	37.1	28.6	33.7	0.6
40 歳～49 歳	243	34.6	23.5	40.7	1.2
50 歳～59 歳	249	46.2	18.9	34.1	0.8
60 歳～64 歳	122	37.7	31.1	31.1	—
65 歳以上	481	44.7	23.3	30.6	1.5

## 【居住地区別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	利用する (既に利用している)	利用しない	分からない	無回答
稲沢	318	47.8	20.1	31.1	0.9
小正	188	56.9	13.3	29.3	0.5
下津	119	42.9	17.6	39.5	—
明治	123	36.6	26.0	35.8	1.6
千代田	81	48.1	19.8	32.1	—
大里西	111	62.2	12.6	25.2	—
大里東	94	57.4	17.0	24.5	1.1
祖父江	205	15.1	44.4	39.5	1.0
平和	136	17.6	33.8	46.3	2.2
分からない	32	37.5	21.9	40.6	—

### ●20歳～29歳、50歳～59歳、65歳以上で「利用する」が4割半ば

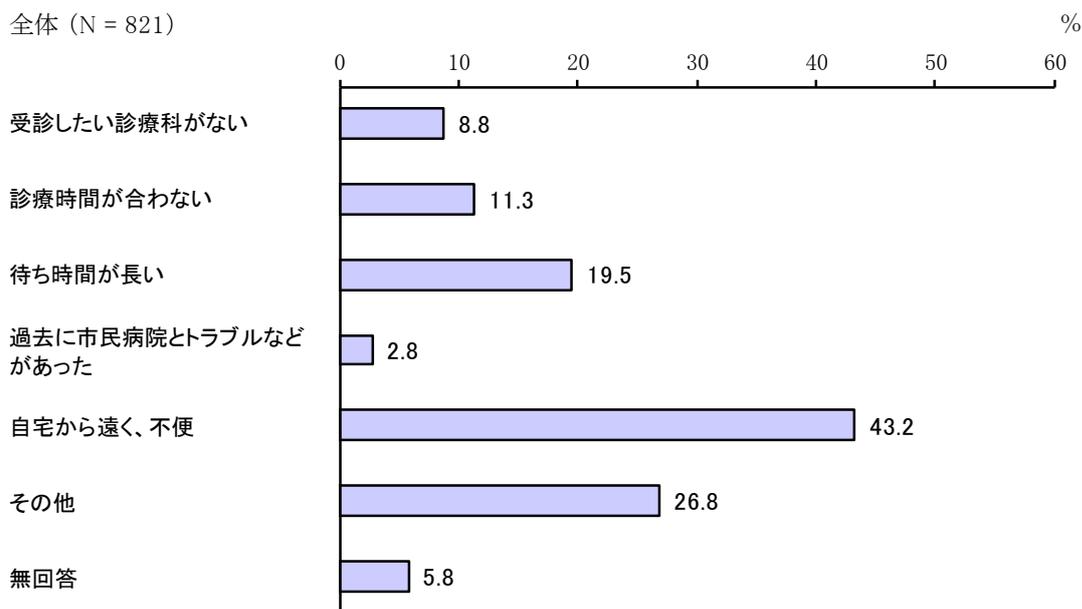
「利用する（既に利用している）」が41.4%と最も高く、次いで「分からない」が34.1%、「利用しない」が23.5%となっています。

性別でみると、男性で「利用する（既に利用している）」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳、50歳～59歳、65歳以上で「利用する（既に利用している）」の割合が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、小正、大里西、大里東地区で「利用する（既に利用している）」の割合が高くなっています。また、祖父江、平和地区で「利用しない」の割合が高くなっています。

問 20 で、「2. 利用しない」「3. 分からない」と答えた方にお聞きします。  
 問 20-1 その理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)



【年齢別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	受診したい診療科がない	診療時間が合わない	待ち時間が長い	過去に市民病院とトラブルなどがあった	自宅から遠く、不便	その他	無回答
18・19 歳	14	—	—	14.3	—	42.9	50.0	—
20 歳～29 歳	69	5.8	21.7	21.7	2.9	34.8	33.3	5.8
30 歳～39 歳	109	4.6	8.3	31.2	2.8	35.8	38.5	3.7
40 歳～49 歳	156	10.9	15.4	25.0	3.2	35.9	21.2	6.4
50 歳～59 歳	132	10.6	18.9	13.6	2.3	38.6	31.1	3.8
60 歳～64 歳	76	13.2	7.9	25.0	1.3	46.1	18.4	7.9
65 歳以上	259	8.1	5.0	12.0	3.5	54.1	22.8	6.9

## 【居住地区別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	受診し たい診 療科 が ない	診 療 時 間 が 合 わ な い	待 ち 時 間 が 長 い	過 去 に 市 民 病 院 と ト ラ ブ ル な ど が あ っ た	自 宅 か ら 遠 く 、 不 便	そ の 他	無 回 答
稲沢	163	16.0	17.2	27.0	4.3	19.6	36.2	5.5
小正	80	11.3	17.5	38.8	5.0	10.0	41.3	5.0
下津	68	7.4	11.8	25.0	5.9	26.5	35.3	7.4
明治	76	2.6	5.3	10.5	1.3	43.4	32.9	7.9
千代田	42	7.1	7.1	14.3	4.8	52.4	23.8	4.8
大里西	42	4.8	11.9	38.1	4.8	14.3	33.3	7.1
大里東	39	20.5	15.4	28.2	—	20.5	30.8	5.1
祖父江	172	5.8	7.0	6.4	1.7	79.1	8.7	4.7
平和	109	1.8	6.4	4.6	—	78.0	17.4	5.5
分からない	20	10.0	10.0	45.0	—	15.0	35.0	10.0

### ●利用しない理由は「自宅から遠く、不便」が4割半ば

「自宅から遠く、不便」が43.2%と最も高く、次いで「待ち時間が長い」が19.5%、「診療時間が合わない」が11.3%となっています。

年齢別で見ると、他に比べ、65歳以上で「自宅から遠く、不便」の割合が高くなっています。

居住地区別で見ると、他に比べ、祖父江、平和地区で「自宅から遠く、不便」の割合が高くなっています。

### Ⅲ 第 24 回市政世論調査 調査結果活用事例

#### ●今後の広報紙など配布方法の在り方について【地域協働課】

設問	現在、「広報いなざわ」をはじめ各種行政文書は、毎月 1 回区長を通じて配布しています。今後、この配布方法をどのようにすべきだと思いますか。
調査結果	「現状のとおり」が 68.6%、「業者による全戸配布方式（ポスティング）」が 24.8%となりました。
活用した事例の進捗状況	この結果に基づき、「広報いなざわ」など各種行政文書は、現状のとおり区長を通じて配布する方法を継続することとしました。

#### ●水道水の安全についての意識調べ

##### 飲料水を備蓄することについての意識調べ【水道業務課】

設問	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 飲料水として、最も利用する水は何ですか。また、水道水を利用していない理由は何ですか。</li> <li>2. 災害に備え水を備蓄する目安は、7日分となっていますが、あなたの家では、災害時に利用できる飲料水を何日分備蓄していますか。</li> </ol>
調査結果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「水道水」が 40.7%と最も高く、次いで「市販のペットボトル入りの水」が 18.4%、「浄水器で浄水した水道水」が 17.8%となりました。 また、水道水を飲料水として利用していない理由は、「水道水に問題はないが他の水の方が良いと思うから」が 28.4%と最も高く、次いで「水道水は安全性（水質）に不安を感じるから」が 24.9%、「水道水は塩素（カルキ）臭がするから」が 18.6%となりました。</li> <li>2. 「1日分～3日分」が 50.4%と最も高く、次いで「備蓄していない」が 36.1%となりました。 また、目安となる7日以上以上の備蓄をしていない理由としては「保管場所がない」が 33.8%と最も高く、次いで「備蓄する目安を知らなかった」が 24.7%、「緊急性を感じていない」が 24.5%となりました。</li> </ol>
活用した事例の進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 稲沢市ステージアッププラン（第6次稲沢市総合計画）などで示されている目標値に対する達成度を検証することに利用しました。 また、令和元年に開催された消費生活展で水道水と市販のペットボトルの水との飲み比べを行い、水道水の品質をPRしました。</li> <li>2. 飲料水の備蓄について、今後の啓発活動の方針・方法を検討する根拠として活用しています。</li> </ol>

●住宅用火災警報器の設置状況調べ【消防本部予防課】

設問	<p>1. お住まいの住宅には、義務となる場所に住宅用火災警報器は設置されていますか。また、住宅用火災警報器の作動確認を実施しましたか。</p> <p>2. お住まいの住宅はいつ建てられましたか。</p>
調査結果	<p>1. 「一戸建て住宅」、「賃貸住宅」、「持ち家の共同住宅」の合計で「全て設置している」は38.5%となり、「一部設置している」の合計は32.4%となりました。</p> <p>また、住宅用火災警報器の作動確認をしているのは48.1%で、このうち96.3%が「異常なし」となりました。</p> <p>2. 住宅用火災警報器の設置が義務付けられた、平成18年5月以前に建てられた住宅は68.6%で、この家族構成は、「65歳以上のみの世帯」が23.0%、「65歳未満を含む世帯」が75.6%でした。</p>
活用した事例の進捗状況	<p>この結果に基づき、住宅用火災警報器の設置義務を周知するため、ホームページでの広報やチラシの配布などを行い、設置率の向上を図るとともに、設置後の維持管理についても注意を呼び掛けました。</p> <p>また、横断幕を名鉄名古屋本線をくぐるアンダーパスの上に設置し、啓発活動を行っています。</p>

●いきいきいなざわ・健康21（第2次）計画推進に向けて【健康推進課】

設問	<p>1. たばこが影響する病気について知っていますか。</p> <p>2. 日頃から体を動かすよう心掛けていますか。</p> <p>3. 1日に30分以上歩いていますか。</p> <p>4. 朝食を毎日食べていますか。</p>
調査結果	<p>1. 「肺がん」が94.5%と最も高く、次いで「気管支炎」が71.5%、「ぜんそく」が65.5%となりました。</p> <p>2. 「ときどき心掛けている」が53.6%と最も高く、次いで「いつも心掛けている」が28.7%、「心掛けていない」が16.3%となっています。</p> <p>3. 「歩いている」が43.1%、「歩いていない」が55.4%となり、性別では男性で「歩いている」が高くなりました。</p> <p>4. 「ほぼ毎日食べる」が87.6%と最も高くなりました。</p>
活用した事例の進捗状況	<p>いきいきいなざわ・健康21（第2次）計画中の評価指標として活用し、達成状況を確認しました。2023年度の最終評価までに、事業の推進をしながら目標に近づけていきます。</p>

●市民に利用される市民病院に向けて【市民病院管理課】

<p><b>設問</b></p>	<p>あなたや家族の方が病気などになったとき、稲沢市民病院を利用しますか。また、利用しない理由は何ですか。</p>
<p><b>調査結果</b></p>	<p>「利用する（利用している）」が 39.3%で最も高く、次いで「分からない」34.5%、「利用しない」25.7%となりました。性別では、男性で「利用する（既に利用している）」が高くなっており、年齢別では、65歳以上の「利用する（利用している）」が 61.5%となり、他の年齢に比べて高くなっています。</p> <p>利用しない理由としては、「自宅から遠く、不便」が 47.1%と最も高く、次いで「待ち時間が長い」19.0%、「診療時間が合わない」9.8%が主な理由になっています。</p>
<p><b>活用した事例の進捗状況</b></p>	<p>65歳以上の利用率が高いことから、市民病院で開催する「病院まつり」や「公開講座」、「健康教室」において、認知症や健康寿命など高齢の方により関心を持っていただけるテーマを取り上げました。</p> <p>「待ち時間が長い」という点について、外来待合にデジタルサイネージを設置し、待ち時間で楽しめる動画などのコンテンツを表示するとともに、混雑状況に応じて丁寧に説明することで、より利用しやすい病院となるよう努めています。</p>

第25回市政世論調査  
市民のこえ  
調査結果のまとめ

発行年月 令和2年11月

発行 稲沢市  
編集 稲沢市市長公室秘書広報課  
稲沢市稲府町1 (〒492-8269)  
TEL 0587 (32) 1126 (ダイヤルイン)  
FAX 0587 (23) 1489